

テートクの決断

蛸壺屋

18禁

艦娘の一番長(前編)  
(前編)

艦娘太平洋戦争 第9弾



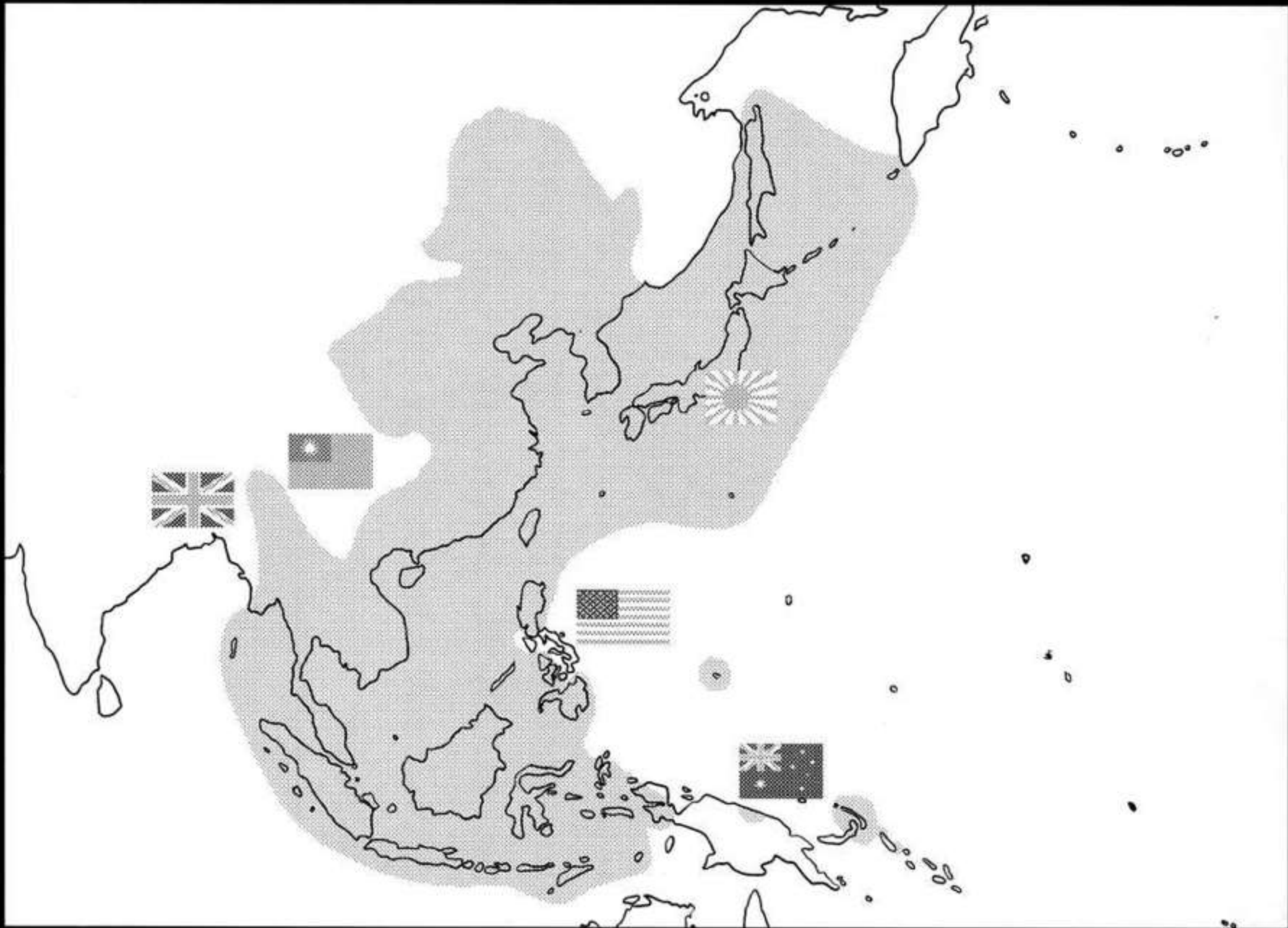
# テートクの決断 艦娘の一番長い日(前編)

蛸壺屋





**1945年  
日本はまだ多くの領土を保持していた**



**しかし...**

昭和20年1月



これっぽも空



んー



国内の石油在庫はもう半年分も残っていません

大型艦はしばらく訓練も控えろって

艦隊再建の目処が8月とは悠長な話じゃな

石油がない



雪風！入ってるのあったかー？

全部空です青葉さん



政府は44年10月から石油代替品の切り札として国民を挙げて松根油(松ヤシ)の回収運動を行っていた

『松2百本分まで1機が1時間飛べる』をスローガンに百万トンの精製を目指したが結局0.5トに終わって上に燃料としての質も劣悪で使えず国民の努力は全て無駄となった

戦後に進駐軍が松根油をジープで試したところ一週間もしない内にジープは使い物にならなくなった  
シット!  
エンジン内で腐ってやがる

一方 スマトラ島油田

日向  
あの煙は?

石油タンクがどれも満タンでどうしようもないから余分を焼却処分してるそうだ

もったいないない

捨てるくらいなら筏にでも括り付けて黒潮に乗せれば日本まで届かないかな

海上投棄もすでにやっつてらしいぞ

内地の漁船の中には命がけで南方まで来て

ゴムの大袋に入れた石油を自ら持ち帰る者もいた

海上護衛総司令部

……  
こんなに

こんなにか  
やられたのか

一連のフィリピン航空戦で米空母の攻撃に使用された海上護衛総隊の『901航空隊』は大損害を蒙り

報告を受けた長官の野村直邦大将と大井篤参謀は涙を流した

君イ  
これではもう護衛はできんね

『901航空隊』は訓練と新開発された磁気探知機装備の哨戒機によって

前方低空を往復しつつ誘導

ようやく潜水艦対策の効果が上がり始めたばかりだった

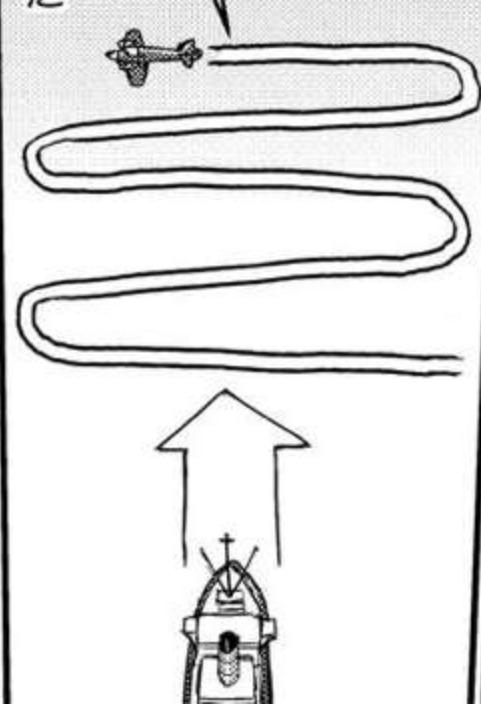
ハルゼーに荒らされた南方航路の今後について陸海軍合同会議で大井参謀は発言した

南方輸送は大船団方式をやめて緊急かつ重要な石油中心に絞ろう

他の資源は満州からの代替物で凌ぐしかない

すでに米軍機が比島に進出したからには

大陸沿いに護衛機を配備しその傘の中を進むしかない  
それには海軍航空の全面協力が要る





護衛艦は出来るだけ廻すが  
航空隊は再建を急いでる  
真っ最中で余裕がない

燃料は決戦に必要なだ  
陸軍は協力を検討  
してもいい

洋上航法が  
できない  
陸軍航空ではな...

そもそも大船団方式は  
貴公の提案なのに  
なぜ方針を変える

小船団なら  
発見しても  
馬鹿らしくて空母が  
来ないかもしれない

それでも来た時は  
どうするんだ

その時は  
どうもこうもない

強盗に入られたに  
家の処女みたいに

早く出てってくれと  
隠れて震えてるほか  
あるまい!

これ以後、南方輸送は特攻輸送をスローガンに  
『南号作戦』という作戦扱いとなった  
タンカー2、3隻に同数以上の  
護衛が付き1月20日から2ヶ月間に  
15の船団がシンガポールから  
門司へ決死の突破を試みた  
しかし密度を増した  
潜水艦と航空機によって  
合計37隻のタンカーのうち  
27隻沈没という大損害を受ける

1月26日  
『北上』が回天輸送艦として  
半年間の改装を完了

大井つちは  
もういない...

雪風エー  
今から回天の訓練やるから  
標的艦頼めるか

ハイ  
北上さん

瀬戸内海 大津島  
回天訓練場

発進!

回天は出撃後は潜行して進み  
目標の500mほど手前で  
一度潜望鏡で目視する  
そこからは  
ジャイロを頼りに  
体当たりを行う

全然  
ハズしてる

しかも遅い.....  
せいせい  
27ノット(時速48km)..  
遅い戦艦くらいだ

酸素魚雷  
(時速90km以上)でも  
見て避けられるのに  
こんなのが水平線から  
ジワジワ近づいてきても  
余裕で避けれる...

北上さん  
これはかなり  
厳しいように  
思いますが

うん  
そうだね  
厳しいね

うん  
そうだね  
厳しいね



1月13日

# 『三河地震』

## M 6.8

東南海地震の余震が  
東海地方の航空機生産に  
さらなる追打ちをかけた



死者・行方不明者  
3432人  
倒半壊家屋  
2万4311戸

龍鳳  
入ります

え

私一人で  
海上遊撃戦をですか



そうだと  
今空母で戦力に  
なるのはお前だけだ  
腕の立つ者を選んで  
敵の後方を叩くんだ  
戦局や  
軍の作戦にも縛られず  
自分の判断で自由に  
戦ってよろしい  
できるか?



は…ハイ  
任務とあれば  
全力を尽くす覚悟です

ですが…実際の所  
私の搭載機だけで  
有効な攻撃が出来るのか  
自信は持てません…



ふむ  
そうか  
そうだな  
下がって  
よろしい

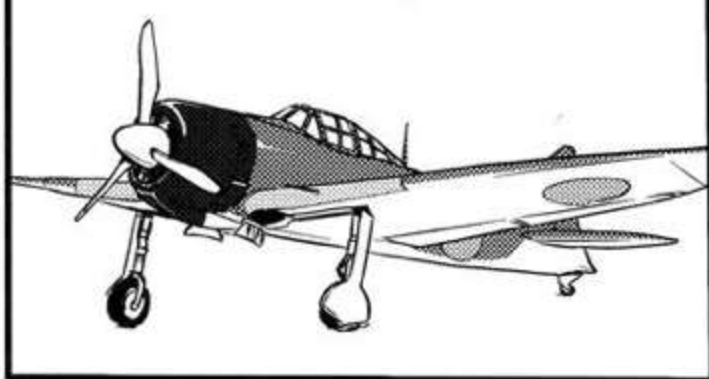


……?



2月1日  
再建を目指して  
訓練を続けていた  
唯一の母艦航空隊  
『601航空隊』  
の全機が

本土防衛の基地航空隊  
『第3航空艦隊』に  
引き抜かれた



### 残る6空母の 航空戦力はゼロとなり



ここに  
海戦に革命を起こした  
日本空母部隊は消滅した

さらに2月3日『南西方面艦隊』が  
ルソン島で動けないため  
すでにボロボロの『第5艦隊』は  
解散された上で



第2艦隊

『第5戦隊』  
『四航戦』  
『第2水雷戦隊』  
『第1,2南遣艦隊』  
『第13航空艦隊』

残る南方の戦力を  
全てまとめた  
『第10方面艦隊』  
が新設された



第10方面艦隊

これで  
連合艦隊の水上戦力は呉と  
シンガポールの2つに集約された



確かに戦況は芳しくない  
本土も空襲を受けるようになった

だが  
日本が負けるとは  
どうしても思えない

連合艦隊は  
戦力を使い果たし  
私達に出来ることは  
もうない

でも今までの戦いで  
敵にも同程度の損害は  
与えてきているはず

後は講和で  
戦争を上手く  
終わらせて  
くれれば...

呉 『大和』

# 神州不敗

間も千年もの  
日本は数千年  
一度も戦争に  
負けたことが  
ないのだから...

## 中国方面

12月10日 支那派遣軍は遂に南寧で南方軍と  
手を握り仏印から朝鮮までの鉄道沿線を確保した

1月27日には  
南部粵漢線の打通にも  
成功した

作戦目的だった  
B29飛行場基地は  
一掃された

大陸打通は  
完了し日本軍は  
大勝利を納めた

11/10 補給が続かず  
進出限界点に  
達する

1/27 南部粵漢線  
も打通完了

12/10 23軍が11軍の  
後を継いで打通完了

国内では日本の勝利を連日大きく報道した

## ビルマ方面

イギリスは  
ヨーロッパ大陸への  
上陸作戦でドイツ戦は  
地上戦が残るのみと  
なったため

イラストリアス級  
装甲空母(搭載33機)  
後に格納庫を三段に増設し  
80機以上を詰め込んだ

インド洋の東洋艦隊に  
正規空母を順次進出させた

44年 1/28 イラストリアス  
7/7 ヴィクトリアス  
12/10 インディファティガブル

### 日本の損害

44年	5/17	20機	船舶5
	6/21	若干の施設	
	7/25	8機	船舶1
	8/24	若干の施設	船舶
	12/20	若干の施設	
45年	1/4~7	石油施設	
	1/24	49機	石油施設大破
	1/29	9機	石油タンク炎上

英機動部隊は44年5月を皮切りに  
月1程度のペースで  
日本の油田地域へ攻撃を続けた

日本軍に強力な反撃  
部隊はなく英軍の損失は  
毎回数機のみだった

地上戦ではビルマ方面軍司令官に  
木村兵太郎大將が着いたが  
英印軍に防戦一方となっていた

1/27 援蒋介石は精鋭を  
引き上げた

15軍はマンダレーで決戦  
28軍はイラワジ川で敵を  
食い止めよ!

12/28 3度目の戦いで  
アキャブ占領  
28軍はイラワジ  
川へ後退

1/21 ラングーン攻略の  
飛行場確保に  
ラムリー島上陸

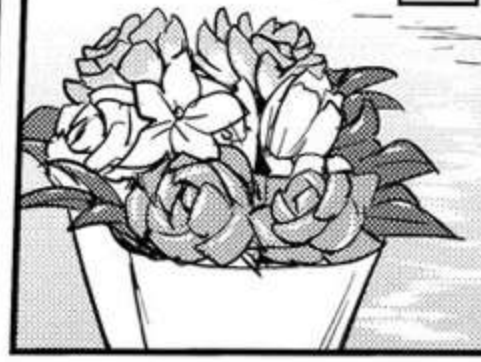
日本軍をマンダレー  
に陽動しつつ一気に  
装甲部隊で後方突破

スリム中將は  
日本軍との決戦を  
かわしつつ  
巧みな指揮で  
首都ラングーンの  
奪回を目指した

いずれにせよ  
この戦争は太平洋で  
決着がつく



みなさん  
お疲れ様  
でした



1月20日 英空母の進出と  
ビルマの戦況悪化を受けて  
インド洋の潜水艦引上げが決定され  
最後の『伊113』『伊115』に  
移動命令が出された

航海の  
ご無事を  
お祈りします



ダンケ  
シエン

2年に渡った日独協同の  
『インド洋交通破壊作戦』  
も終了した

長らく作戦を支えた『伊8』は  
一足先の11月にインド洋を  
去っていた

私達は大きな  
仕事をやりまし  
たよね



モンスーン戦隊は  
順次帰国の途についたが  
11隻のうち母国ドイツまで  
辿り着いたのは  
1隻だけだった



連合国の攻撃に  
帰国を断念した6隻は  
日本に残り  
『伊501』〜『伊506』  
となつて連合艦隊に  
編入された

2月1日  
『第8潜水戦隊』は解隊された

18軍司令官安達大將は  
8月のアイタペ総攻撃の後  
広く分散して軍の現地  
自給自足を目指したが

10月に米軍と交代し  
後を引き継いだ  
オーストラリア軍は  
12月に入ると  
思いもかけない  
追撃を2方向から  
開始した



ただ豪軍兵士の士気は低く  
事前の砲爆撃で  
徹底的に叩いてから  
ゆつくり進軍した



この期に及んで  
重要でもない戦いで  
死にたくない

高原地域では宣撫活動に  
成功した集落に住み着いた  
部隊は原住民に助けられ

自活のため  
農作業に  
取り掛かっていた

歓迎してくれる  
のは有り難いが  
臭くてたまらん



しかし多くの日本兵は  
シヤシグルルの中で食料を求めて  
彷徨い餓死していった



もう食うことと  
死ぬことしか  
頭に浮かばない…

故郷を思い出す  
こともない…

畜生と一緒にだ

せめて意味のある  
死に場所がほしい…

つくづく  
アイタペの総攻撃で  
死んでいればよかった

日本兵の死体が最後まで  
持っているのは  
飯盒だけ  
だった



死体からは足の肉と  
内臓が切り取られていた

45年1月 18軍に  
友軍兵の屍肉を食する者は  
厳罰に処すとの布告が出された



この布告で少なくとも  
違反者4人が銃殺された

ペツ  
腹が減ってても  
蟻は食えたもん  
じゃないな

人肉は食いたくない  
誰か猿の肉と言って  
オシの飯盒に入れて  
くれ！

兵の間では  
オーストラリア兵を『赤豚』、原住民を  
『黒豚』という隠語が使われた

一方、隣のブーゲンビル島と  
ラバウルでは芋の栽培で  
食料不足の最悪期は  
過ぎ自活の目処が  
立ちつつあった

ラバウルの  
『第8方面軍』  
今村大將は10万の兵が  
戦争に全く貢献しない  
のを憂い一部で  
陽動や攻勢を行った

1月~3月  
オープン湾で  
2個中隊遊撃戦

2月~4月  
ワイド湾で  
ズンゲン守備隊  
と豪軍の戦い

44年11月~  
ここでも豪軍は  
意味のない全島  
占領攻撃を開始

3月~4月  
『プリアカ作戦』  
日本軍3300名  
での反撃失敗

ニューブリテン島の  
豪軍の任務は戦線の  
維持だったのでこれ  
以上進軍しなかった

ワイド湾では豪軍が44年8月頃から  
砲撃を開始したため日本軍は後退した  
だが2月になると豪軍は足を伸ばして  
拠点のズンゲンまで攻略に掛かった

包囲された守備隊は  
日本軍のバターンで玉砕攻撃派と  
遊撃持久派で意見が割れ別行動を取った

持久派はジャングルを14日間歩き続け  
50人まで減って後方陣地に辿り着いたが  
すでに玉砕電報を受け  
遥拝黙禱を行った  
幽霊が生きていては困る

だが陣地を奪回して  
手柄をあげたら上に  
もう一度話が通せる  
報告を受けた師団は斬込んで玉砕  
させるよう命じ前線に追い返した

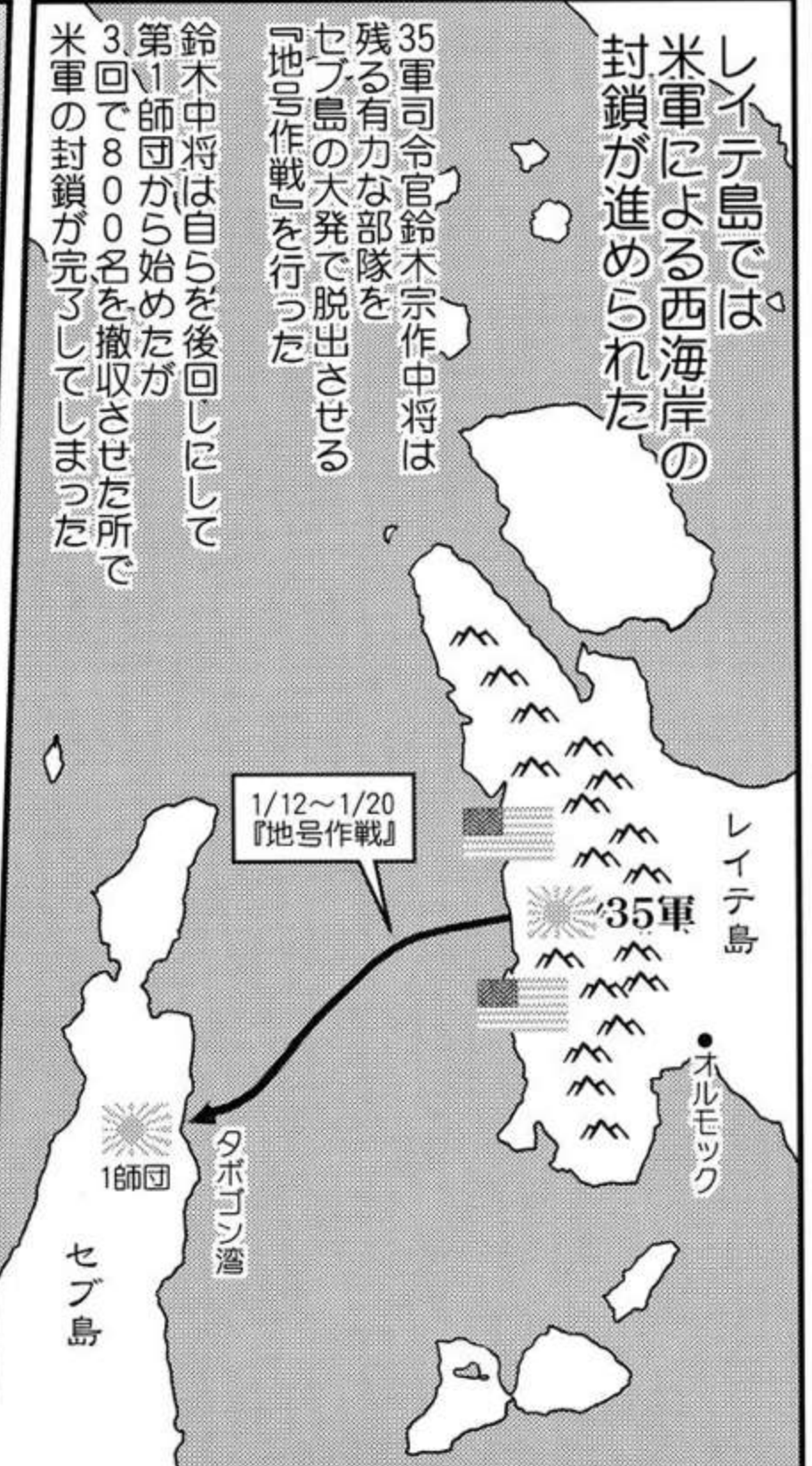
やむなく引き返したが無意味に死ぬ気配  
もなれず飢餓で全滅しかけていた時  
俺は師団命令で幽霊の  
貴様らを全員殺しに来た！  
命令に不服があるものは  
前に出る！  
いないな！分かった！  
既に死んだお前達の命は  
次の戦闘までオレが預かる  
移動の準備をしろ！  
監視に派遣された岡本大尉の機転で  
ようやく後方陣地へ引き上げた

フィリピン

レイテ島では  
米軍による西海岸の  
封鎖が進められた

35軍司令官鈴木宗作中将は  
残る有力な部隊を  
セブ島の大発で脱出させる  
『地号作戦』を行った

鈴木中将は自らを後回しにして  
第1師団から始めたが  
3回で800名を撤収させた所で  
米軍の封鎖が完了してしまった



この頃になると絶望した  
日本兵の中にはカヌーや筏で45kmの  
海峡を漕ぎ渡り、勝手にセブ島に  
脱出を図る者たちも現れた  
甚だしきは102師団司令部が  
無断で10隻のバシカで脱出し  
軍に追認の命令を求めた

鈴木中将は  
激怒したが  
天皇が直接任命する  
師団長を処罰はできず  
やむなく追認した  
しかし脱出は殆どが遭難するか  
警戒中の米魚雷艇に撃沈された

だがどうあろうと  
レイテ島脱出は  
生き残る唯一の道だった

日本軍が  
立て籠もったのは  
米軍侵攻前に住民を巻込んで  
容赦ないゲリラ討伐作戦を  
行っていた地域だった

ここからレイテ島の悲劇の  
最後を飾る住民とゲリラによる  
徹底的な日本兵狩りが行われる

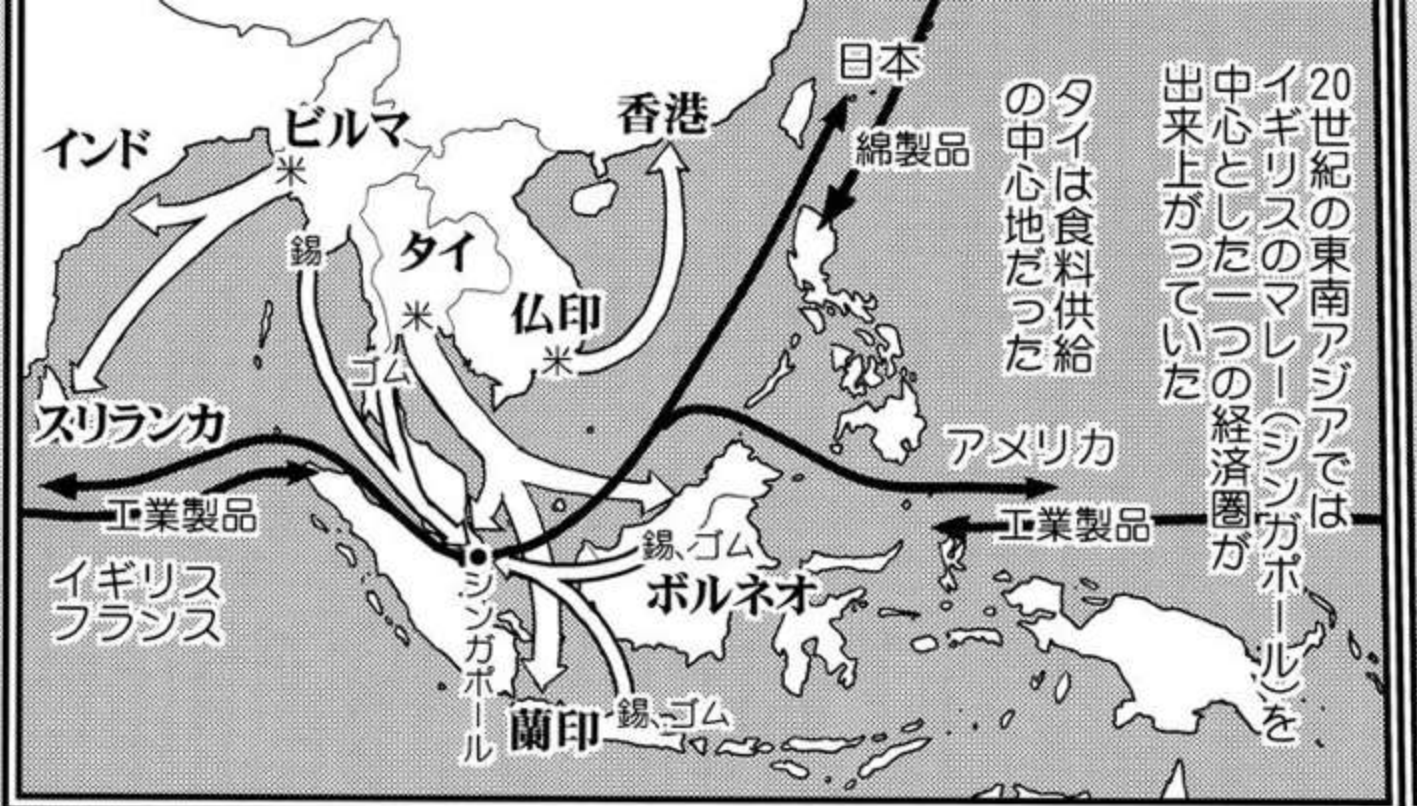
日本はなぜ  
住民を敵に回したのか



元々日本の南進論は関東軍の北進を抑えるため急に浮上したものであった。そのため南方占領地の軍政研究のスタートは何と41年の2月で4月には一旦終了した。

8月から再び始められ開戦20日前にようやく原則だけ纏められたのが『南方占領地行政実施要領』だった。

**治安の恢復  
重要国防資源の急速獲得  
作戦軍の自活確保  
重圧はこれを忍ばせる**



日本はこれを大東亜共栄圏として纏めて企画院の物資動員計画に組み込んだ。

すなわち自由な交易は辞めさせて一旦全ての生産物を日本の管理下に置いて必要に応じて各国に分配するという方法である。



日本の戦争は国内のインフレを防ぐため占領地で日本円は使わず現地通貨と同じ券面で日銀券とは交換できない軍票(占領地に新設した銀行券)を発行して使った。

タイと仏印は自治を認める『地域』として軍政(軍票発行)でなく貿易を行ったが『特別円』という金に変えられない不換紙幣を作り出して行った。



『日本円は一円も使わず占領地で軍隊を養う』これが日本軍の原則だった。

(金融の専門家でない軍人は軍票を乱発し凄まじいインフレで軍票は紙くずとなった)

貿易が無くなったため仕事を失った大量の労働者は日本企業が『労働者』として低賃金で雇用し各地で過酷な労働に従事させた。



全体を物不足が襲い衣食を自給させようとゴムやコーヒー畑を潰して素人考えで綿花や米麦を作らせたが不作となり風土を無視した農業は失敗した。

労働者は村々ごとに人数を割り当てての供出もさせただけ労働の役に立たない老人や虚弱な者も多々含まれていた。



それを例によつて船倉に詰め込んで輸送したが当然食事などの扱いは日本兵の時よりさらに悪かった。

輸送中に死んだ者は米袋に包んで海に捨てられ美しい若い女がいると兵舎に連れて行かれたなんて酷い扱いをしゃがる。



だが戦況の悪化もあり日本企業のこうした事業は儲かるどころか殆どが失敗に終わった。

もともと資源があっても開発されずにいたのは条件が悪かったからである。

事業の一部成功したのはボルネオの木材とセレベスの雲母だけ



ニューギニアへ畜産野菜栽培、土木事業などで向かった業者は



消息不明となった



軍の要請で代替燃料の開発に  
来たのに一向に始まらない！  
もう帰国の手続きをしたい

任期は変更できない  
高給も出るんだから  
遊んでればいいじゃないか

日本の民間商人達は接収した欧米人の  
屋敷に住み多数の召使い、複数の自家  
用車、専用コックなど贅沢な生活を  
引き継いだ

やがて事業が行き詰まるにつれ  
歓楽街に通い宴会や買春に  
明け暮れるようになった

君は全然女を  
買に行かないな  
男が好きなのか？

この人も内地では  
教養ある人格者だった：  
日本人には個人の哲学がない

フィリピンでは通貨の政策でも  
問題が起きた

フィリピンの国立銀行は戦争が  
始まると貨幣流通が妨げられると考え  
各州に緊急紙幣の発行を認めだ



日本の軍政が始まる頃には  
7〜8割が緊急紙幣となっていた

日本軍のフィリピン軍政監部は  
この緊急紙幣を無効と宣言して  
所持者を見つけると逮捕するという  
極めて乱暴なやり方で取り締まった

無茶な！  
せめて軍票と等価で  
交換してフィリピン人の  
財産を保護すべきです

敵性通貨の  
使用をやめない者は  
反日分子だ

参謀の一人大槻中佐は  
反対したが更迭された

財産を無価値にされた人々は  
紙幣が使えるゲリラ支配地域へ  
次々と逃れていった

さらに大本営の辻政信参謀は占領時に  
独断越権で要人を殺害したり、反日分子の  
粛清計画を強力に推し進めたりしたため

フィリピンのビザヤ地方とマレーは  
ゲリラの抗日活動が最も激しい地域と  
なっていた

本間軍司令官は  
無能だ！反日政治  
家は処刑せよ

辻参謀

シンガポールは  
人口を半分にする  
つもりでやれ！

『ビザヤ地方』  
尊敬を集めていた  
最高裁判所長官を  
反日分子として処刑

『シンガポール華僑粛清』  
激しく抵抗した華僑  
義勇軍の捕虜など  
住民5〜8000人を虐殺

本当に軍から  
命令が出てくるのか？

こんな重大なことを  
口頭では実行できない  
命令なら書面にしてくれ

こうしてレイテ島の  
日本兵は恨みを持つ  
90万の住民(戦闘に巻き込  
まれ5万以上死亡)の中  
取り残されることになった

# ルソン島

1月9日  
フィリピン最後の神風特攻で  
大混乱に陥りながらも  
米軍は遂にルソン島  
リソガエ湾上陸を  
始めていた

ひどい上陸だ

もし今2個師団に  
攻撃されていたら海に  
追い落とされていたら  
追いついたろう

まさに初動の反撃兵力だった  
精鋭『1師団』『26師団』はレイテに  
投入されず山下の手元  
になかった





オイ梅津  
一体どうなってるんだ

陸軍はちつとも  
決戦をやらない  
じゃないか

小磯首相

もつと活動的に  
やったら  
いいじゃないか

俺は陛下の幕僚の  
長に過ぎない

梅津美治郎  
参謀総長

軍の統帥は  
現場がやってるから  
俺に言っても仕方ない

俊英と噂される梅津は  
派閥抗争を続ける軍内で孤立を貫き  
その見識で一目置かれていたが  
その分保身の傾向があるとも言われた

参謀本部はすでに新たな作戦部長  
宮崎周一少将のもとで  
本土で米軍の上陸第一派を  
撃退する体勢作りに移行していた

いかなる犠牲を払っても  
本土での一撃は必ず  
成功させる！

もう一兵たりとも  
国外には送らない  
今の戦力で時間を  
稼ぐのが外地の役割だ

陸軍はようやく  
対アメリカへの体勢に  
全面移行した

大本営陸軍部の情報担当である  
第二部は開戦時には

5課 ソ連担当  
7課 中国担当  
6課 その他

驚くことに  
米英専門の課はなかった

開戦後の快進撃を受けて42年に  
ドイツイタリア担当が花形部門として  
独立し「16課」となったが

その後の戦況悪化で  
イタリアの降伏と  
ドイツの退勢を機に廃止

6課 米英担当

となり事務員込みで40人の  
小規模だった人員と予算を  
大幅に増強し始めるのはようやく  
43年10月になってからである



この組織改編で6課に配属された  
堀栄三情報参謀はまず海軍から  
通信解析の方法を教わり

実際に米軍が行ってきた戦法の  
徹底的な分析研究に当たった

服部卓四郎作戦課長の要請で研究と  
並行して士官達への講義も行われた

2流3流の軍隊と  
戦っている間に世界に  
遅れ我が軍自体が「ボロ」  
になってしまった

補給でも米軍は部隊を  
丸ごと入替えて後方で  
休ませる間に完全な状態に  
補充してまた入れ替る

米国のような  
物量があるから  
出来るのでは

それが出来ない  
作戦は立てないと  
いうことだ

日本軍の火力の劣勢を論じる堀に  
大本営の参謀や軍司令官達は  
不快感や反発を露わにしたが  
ペリリユーの中川大佐などこれから  
前線へ向かう将校達は熱心に聞いた

堀は大使館員が極秘に手に入れた  
大正時代に作られたアメリカの  
太平洋諸島に対する上陸作戦研究を  
読んで衝撃を受けた

アメリカは  
これ程前から  
ここまで準備して  
いたのか！

その間我が陸軍は  
軍閥を作って政治や経済への  
介入に血道を上げていたのだ



情報部6課はフィリピン決戦までに米軍の特徴、戦法、対策など研究成果を冊子にまとめ上げた

題名は『米軍戦法早わかり』  
でどうでしょう

それはいい  
『戦法要覧』や『概要』より  
皆が読んでくれそう

44年10月 山下將軍が  
14方面軍に着任すると  
大本営は6課から  
米軍対策の切り札  
堀情報参謀を派遣した

『敵軍戦法早わかり』は  
せめて1年前…できれば  
開戦前に作っておくべき  
だった

折から台湾沖航空戦の  
真つ最中だったが  
堀は米軍への知識と現場を見て  
大戦果は間違いだと疑った

日本中が沸き立ち  
祝賀会が行われている  
勝利を否定する新任の堀は

激しい非難を浴び  
方面軍内で孤立した

しかし山下は  
撃墜した米軍パイロットへの尋問が  
堀の主張と一致することを知らず

14方面軍が一貫してレイテ決戦に  
反対したのはこの事による

だが大本営はレイテ決戦を強行  
14方面軍は主戦力と物資を  
次々と引き抜かれた

驕敵撃滅の  
神機である！

戦力の減少でルソン島では  
平野での決戦が困難となり  
山下は北部での持久戦を  
主張したが各司令部の意見は  
纏まらなかつた

海軍は  
マニラ湾の基地を  
放棄はできない

マニラを戦わず  
明け渡すなんて  
とんでもない！  
徹底抗戦すべきだ

山下には  
彼らに対する指揮権がなく  
やむなくマニラに残したまま  
先に方面軍司令部を北へ移動させた

山下閣下、堀です  
お呼びでしょうか

うむ  
座ってください

南方軍 寺内元帥

海軍特別根拠地隊  
岩淵三少将

第4航空軍  
富永恭次大将

さて

レイテの決戦は  
中止と決まった

聞えう

米軍と  
どう戦えばいい



近代戦における火力とは  
敵の頭上に降らせる  
鉄量のことです

アメリカ師団の鉄量は  
日本師団の3倍です

鉄量で最も  
恐るべきは艦砲ですが  
これは戦艦一隻で  
5個師団に匹敵します

戦艦4隻に囲まれたら  
20個師団を相手にしてる  
ことになるでしょう

これに空爆が加わると…

お前の言うことを  
聞いていると

アメリカ軍には  
弱点がないじゃないか

いいえ  
彼らにも  
苦手があります

山です

レイテの第1師団は  
何も出来ず期待を裏切った  
と言われていますが  
私の考えは違います

むしろよくぞこの火力差の  
米軍相手に補給もない状態で  
2ヶ月も頑張り抜いてくれた  
と評価しています

この男も  
激情家だな

この第1師団の戦闘こそ  
世界戦史に日本人強しと刻ま  
れるだろう勇戦と考えます

とはいえ理由はあります  
偶然ですが遭遇戦になった  
場所がリモン峠すなわち

『山』だったからです

山は艦砲が届かず  
空爆の威力を減じ  
機械化された歩兵の  
強みを発揮させません

予定通り平地で遭遇していたら  
早々に撃破されていたでしょう

山下は堀参謀の進言を受けて  
14方面軍をそれぞれ山を背後に控えた  
3つの集団に分けて配置した

ルソン島の日本軍は数こそ27万に  
まで膨れ上がっていたが  
そのうち9万は後方要員や  
召集された現地の邦人だった



対米諜報に本腰を入れた陸軍情報部は  
44年7月にスウェーデンで極秘に  
『M-209暗号機』を手に入れて  
米軍の暗号解読に取り掛かかっており  
この時までにはフィリピンゲリラが  
米軍と交信する暗号はほぼ解読して  
動きを掴んでいた

堀は方面軍にいる間、米軍の動きを予測して説明し  
そのことごとくが的中したため『マッカーサーの  
参謀』というあだ名が付いた

米軍は極めて合理的に  
原則通りに動いているので  
予想はしやすい

山下は上陸日と場所の予想を命じ  
堀は『1月上旬末(8、9日)リンガエン湾に  
5ないし6個師団』と結論した  
(実際は9日に6個師団)

山下は堀を信頼しマッカーサーがゲリラを  
使って仕掛けた上陸前の陽動には乗らなかつた

司令部を北部の避暑地  
植民欧米人の避暑地  
バギオに移してから  
山下は

全てを達観した  
かのような様子で  
仏教書を読んだり  
沈思にふけったりしていた

海と空の  
戦力は皆無

とうとう軍属や  
民間人まで動員した  
竹槍部隊で  
戦うことになった





持久戦を伝えられていた  
参謀達だが敵を目前に  
たまたらず山下に詰め寄った

攻勢に  
出るべきです  
攻撃命令を！

指を加えて  
見ていると  
いうんですか

ダメだ  
方面軍の役割は  
長期持久と  
言ったはずだ



このままでは  
士気に関わるし  
一度叩いた方が  
持久もやりやすい

限定して反撃を  
行いましょう

14方面軍参謀長  
武藤章



米軍はルソン島へ上陸すると  
必手に分かれてすぐに首都マニラへ  
向かって進軍を開始した



武藤章  
石原の命令を無視  
日中戦争を起す  
太平洋戦争には反対

石原莞爾  
独自の『世界最終  
戦争』理論を唱え  
満州事変を起す  
日中戦争には反対

田中新一  
武藤東條を弱腰と叩き  
太平洋戦争を起す  
限界まで戦線拡大を主張

『陸軍の暴走』は石原莞爾から  
始まったが、より才覚の劣る者  
が過激な主張で主導権を握り、  
国際社会と軋轢を増していった



武藤章は陸軍の派閥『統制派』  
の中核をなした一人で  
いわゆる昭和の『軍部の暴走』  
に深く関わった  
人物である

二二六事件後の肅軍で山下ら  
『皇道派』を中央から追放したが  
山下は根に持たず意外にも  
14方面軍の参謀長に優秀な  
武藤の就任を強く要請した



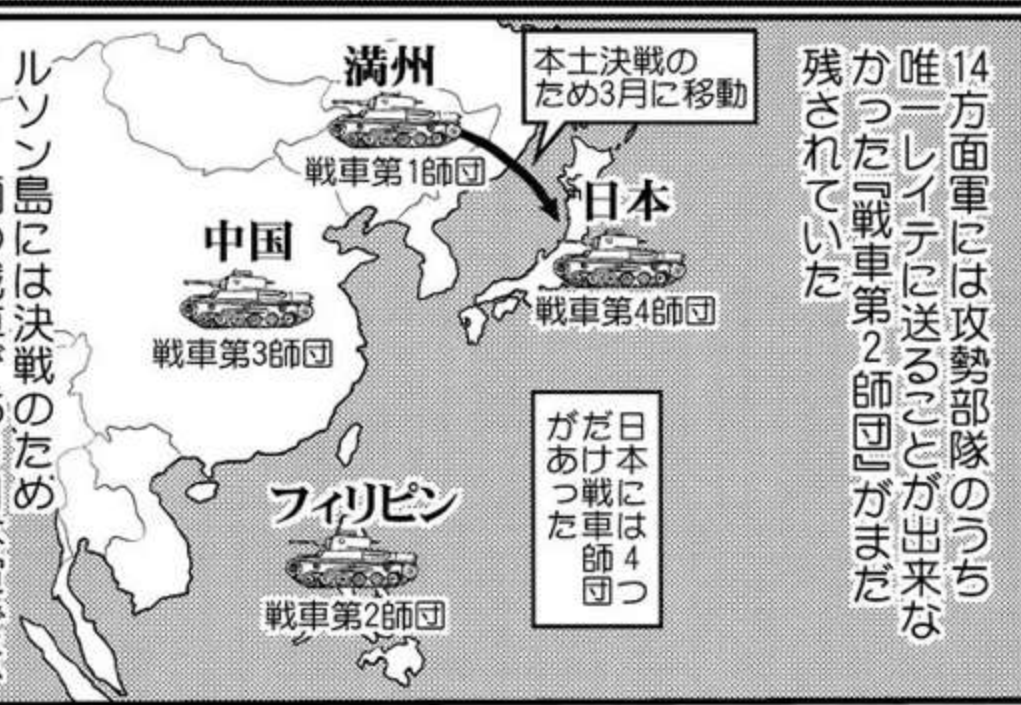
これまでの上陸例と違って  
米軍の前進が強引だ  
飛行場を確保した後  
拡げるケースと違う

首都マニラ  
解放を目前にして  
マッカーサーが  
焦ってるのだろう

堀参謀

1月16日

富永閣下！



14方面軍には攻勢部隊のうち  
唯一レイテに送ることが出来な  
かつた『戦車第2師団』がまだ  
残されていた

日本には4つ  
があつた  
戦車師団

ルソン島には決戦のため  
2000輦の戦車があり日本軍では  
珍しく装甲車両が充実していた



これが悪名高い  
『富永の敵前逃亡』である

組織の改編で  
山下の指揮下に入っていた  
富永は使いを出して  
追認の命令を求めたが  
山下は激怒して拒絶した

逮捕して  
軍法会議に掛けろと  
大本営に伝えろ！



米軍がマニラに急進する中  
マニラ近郊の飛行場から  
数機の飛行機が飛び立ち  
台湾へ向かった

地上員の私達は  
どうすれば：

好きにしろ

マニラ徹底抗戦を叫んでいた  
富永恭次と『第4航空軍』の  
幕僚達だった



1月16日 戦車第2師団で最も多い60輛を持つ重見少将の『戦車第7連隊』が逆上陸反撃と連携し攻撃を始めた

そこで初めて『M4シャーマン』に遭遇した部隊はその性能に驚き、戦法を夜戦の段込みは切替えたが撃退された



翌1月17日、ゲリラを案内に進んできたM4を待ち伏せた『新砲塔チハ』は側面を70mのゼロ距離で撃ち抜くなど3輛を撃破したが、乱戦で大損害を受け後退した

**チハ**

重見少将は戦車戦で対抗できないと知って主力の出撃を中止し、サンマヌエルの陣地で戦車を壕に入れ迎え撃った。だが壕の位置はゲリラが伝え空爆を受けた

攻撃命令を拒絶して撃って出ない。重見少将に山下は激怒し司令部への出頭を命じた

**なぜ出撃しない 戦車挺進攻撃を行え**

しかしすでにサンマヌエルで包囲された重見少将は命令を知ると最後の戦車13輛で敵中へ突入し全滅した



残る戦車6、10連隊は歩兵部隊と共に山の麓で北部侵入ルートを防ぐように配置されたが活躍する場もなく砲爆撃でずいぶん潰されていった

重見支隊は勇敢に戦ったが戦略的には無意味な攻撃だった

20日間の戦いで戦車180輛と火炮トラックを失った第2戦車師団は事実上歩兵部隊となり背後の山岳地帯へ後退した

1軍団

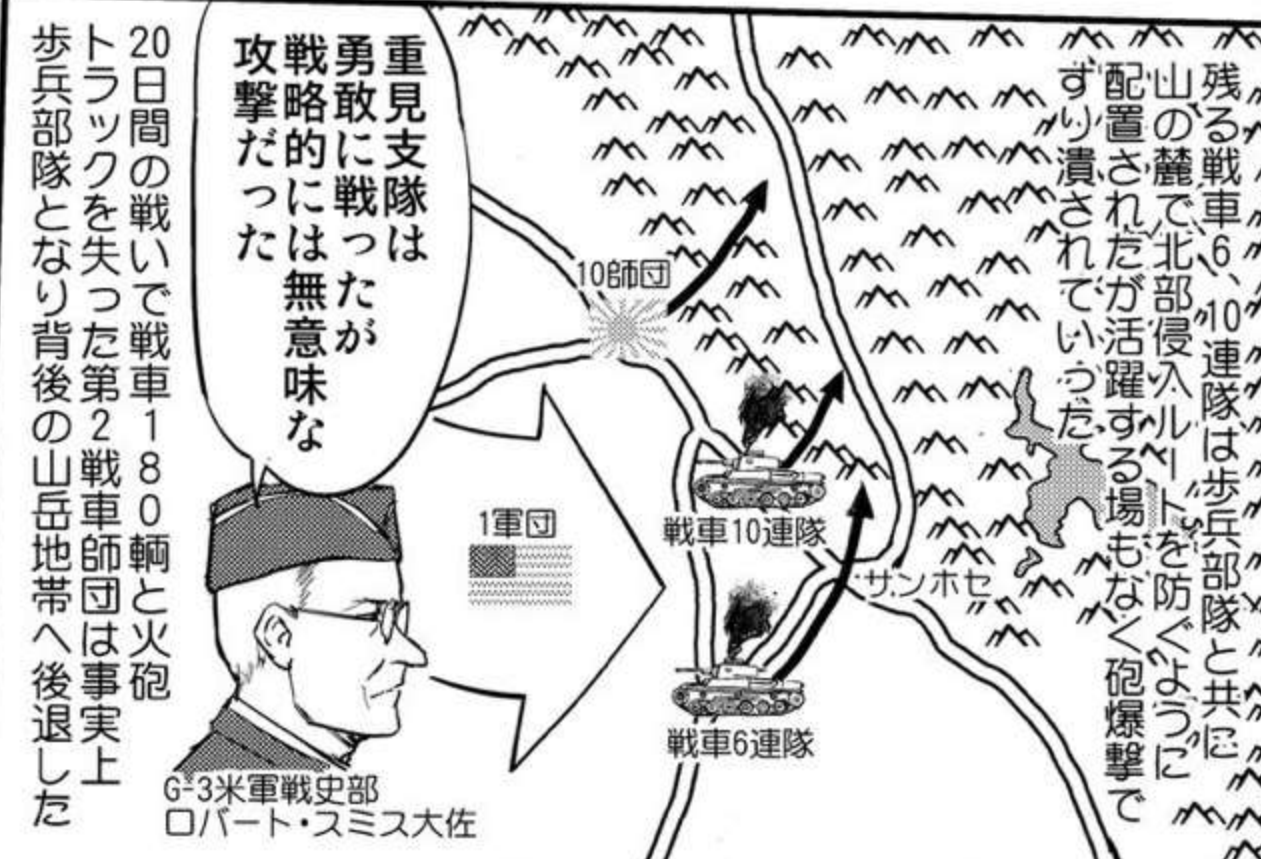
戦車10連隊

サンホセ

戦車6連隊

10師団

6-3米軍戦史部  
ロバート・スミス大佐



一方『米14軍団』はたいした抵抗を受けずに平野を南下しマニラを目指した

米6軍

1軍団

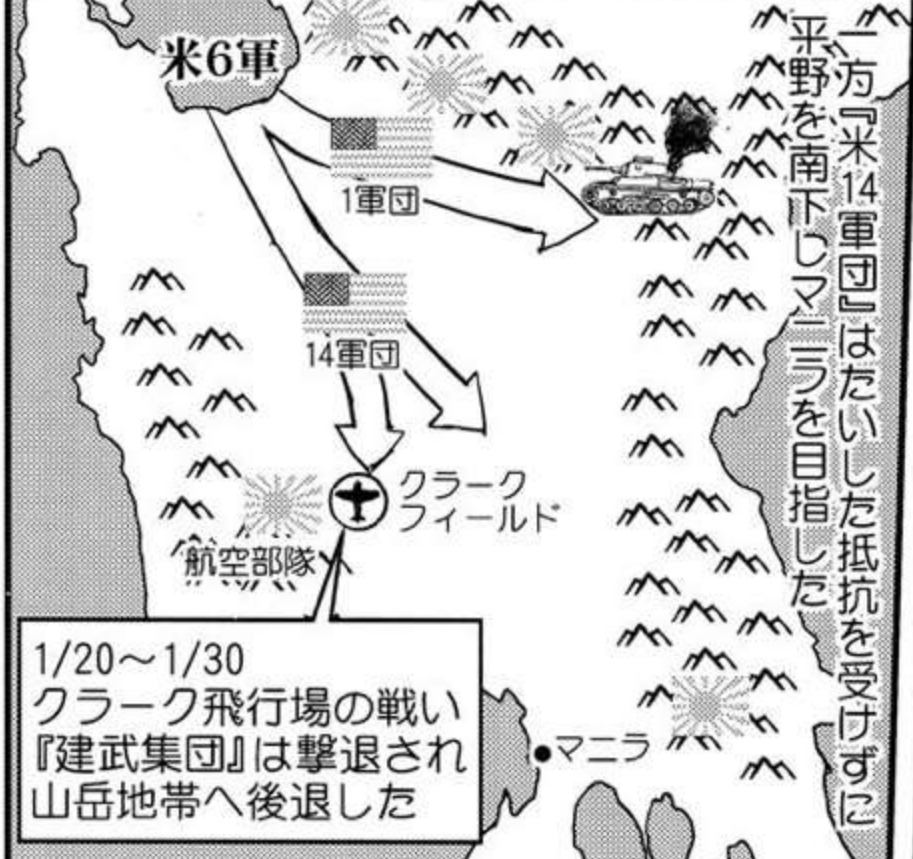
14軍団

クラークフィールド

航空部隊

マニラ

1/20~1/30  
クラーク飛行場の戦い『建武集団』は撃退され山岳地帯へ後退した



1月25日 インド洋から最後に引き上げた『呂113』ほか4隻が『呂113』に補足されて同じ潜水艦に撃沈された

100名を救出する命令を受けた

**おは**



搭乗員は貴重だから助けろって



この動きを暗号解読で掴んだ米軍は近くの潜水艦を襲撃し向かわせた

このうち『呂115』は作戦へ向かう途中で巡洋艦に撃沈された

『バットフィッシュ』

アバリ (搭乗員待機)

ルソン島



『呂112』と『呂113』はルソン島に辿り着く前に『呂112』に補足されて同じ潜水艦に撃沈された

『呂46』だけが46名を台湾へ運ぶことに成功した

しかし犠牲が大き過ぎて二度目は実行されなかった



1月22日 堀と朝枝情報参謀にもルソン島から参謀本部へ帰任(脱出)命令が出た

私は閣下のもとに残りたいです



今迄よくやってくれた 本土決戦にはお前のような専門家が必要だ 戻って日本のために もっと働いてくれ





1月26日 フィリピンの制空権が  
後はマッカーサーの第5空軍で  
十分となったので

仕事を終えたハルゼーは  
スプルーアンスと交代した



艦隊名は  
『第3艦隊』から  
『第5艦隊』へ

機動部隊は  
『38任務部隊』から  
『58任務部隊』へ変更された

スプルーアンスの任務は  
次の『沖縄』攻略だった

45年1月 エセックス級15隻目  
アンティータム(CV36)就役



私の分のジャップも  
残しておいてくれよ

B29による日本本土空襲は2箇所から  
行われていたが、国を挙げての兵器生産  
は続いており戦争継続能力の喪失という  
『マッターホルン計画』の成果は  
見える形では現れていなかった

ハンセル將軍は  
B29の能力を  
十分使いこなせて  
いないようだ



陸軍航空軍  
アーノルド元帥

私が更迭される  
のは焼夷弾での  
無差別爆撃に  
反対だからだ

ハンセル少将  
サイパン

1月20日 成都  
ルメイ少将  
高高度から軍事施設への精密爆撃を  
続けるハンセルはルメイと交代させられ  
同時に爆撃はサイパンに一本化された

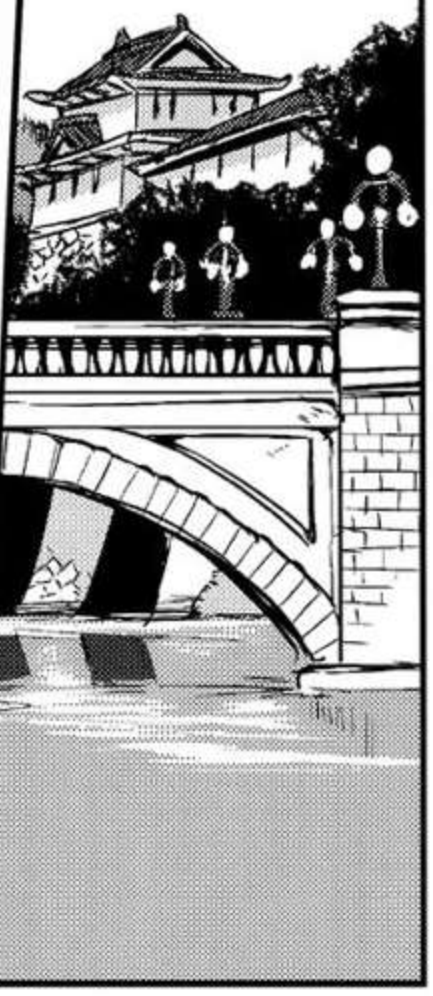


一本化に当たりアーノルドは  
B29の損失を減らすため  
『サイパン-東京』  
間に中継飛行場  
を求めた

スプルーアンスも  
同意して沖縄攻略の前に  
5日程度で小笠原諸島の硫黄島を  
攻略することも決定された



東京 宮城(皇居)



ドイツの敗北は  
もはや明らかだが

ヒットラー総統は  
三国同盟を守って米国に  
宣戦布告した



イタリイは降伏したが  
単独講和を禁じた同盟を  
日本が先に破る訳にはいかない

いつぞドイツも  
早く敗けてくれぬ  
ものか

幼い頃より明治の元勳らに  
帝王学を叩き込まれた天皇は  
非情なまでに法や原則に忠実だった



この際  
重臣と一人づつ接見し  
直接意見を聞きたい

木戸内大臣は  
重臣が天皇に余計な事を  
吹き込んでるとい  
軍部の不興を恐れたが  
ともかく手配を行った

前例のない重臣接見は2月7日  
から26日まで順次行われた

- 右翼政治家 平沼騏一郎  
「戦争遂行に国力全ての投入を」
- 右翼外交官 広田弘毅  
「ソ連と戦端を開かぬよう慎重に外交を」
- 穏健派政治家 若槻礼次郎  
「戦い抜いて勝敗無しで和平を」
- 海軍大臣 岡田啓介  
「有利なる時期を捕えて終戦を」



しかし  
重臣の多くは敗戦必至とも  
本土決戦で勝利とも明言しなかった



1月7日 『荒鷲は  
リンガエン湾とミンダナオで  
32艦船を轟沈破す』  
1月10日 『本土来襲B29  
60機中29撃墜破』

1月12日  
『リンガエン湾で  
空母など9隻轟沈す』

1月15日 『名古屋来襲のB29  
60機中43を撃墜破。ダモルテス  
上陸の米軍艦船27撃沈破』

# はじめ

どう思う？

そんなに  
パンパン沈めば  
苦労はないのじゃ

大本営って  
いつからこんな  
適当な戦果発表する  
ようになったんです

え？ いつの間に  
米1升15円もする  
ようになったの？

配給だと  
2円88銭です  
よね

そんな公定価格で  
買えるのは軍関係者と  
役人だけだよ

売ってないから  
みんなヤミで買うんだ  
北海道じゃ60円だ

昭和20年 国民への配給は  
それだけでは栄養失調になる  
水準にまで減り闇市の利用が  
当たり前になっていった



卵、砂糖、酒はぜいたく品  
肉は国民は年1回下肉  
軍関係者は月2回コース

配給分を自分で使わず  
闇市で売ると20倍で売れたが  
公定価格で物を買えない者は  
金を増やしても意味がなかった  
買える立場の者は横流し私腹を肥やした

オイ軍人さん！  
敵を引きつけて  
叩くなんて言うてるが  
もう上空にまで来てる  
じゃねえか！

どこまで  
引きつけるんじゃ  
早う連合艦隊で  
叩いてくれよ

オドレは知らんのか  
連合艦隊なんてもう  
いないんじゃ！

オイオイ  
なに言ってる  
ちゃんというぞ！

海の底にな

行こう

うん

2月14日 公爵近衛文麿は  
自ら書いた『上奏文』を手に  
接見に臨んだ

敗戦は遺憾ながら  
もはや必至なりと  
存じます

軍部は負けを知りながら  
体面だけのために  
戦争を続けています  
謹んで陛下のご決断を  
お願い申し上げます

民の不満は高まっており  
国体の真の脅威は  
米国への降伏でなく国内の  
共産主義革命にあります  
陸軍将校の一部にはソ連や  
中国共産党と結びつくことを  
提唱している者もおります  
早期の粛清が必要です

.....  
軍を粛清するというが

具体的には誰をするのか





聞き上手で理解力が高く  
また新しい事に熱中しやすい近衛は  
陸軍有力者から聞いた共産主義者の  
陰謀『50年戦争計画』を信じ込んだ

共産主義者が  
軍や国家の中枢に  
潜り込み日本を次々と  
無謀な戦争に導いて  
その混乱に乗じて  
革命を起こし  
国家転覆を計っている  
というものだった

今の主流でない者達を  
起用するのがよろしい  
かと存じます

近衛は反主流派として二二六事件を  
引き起こした『皇道派』軍人など数名を  
挙げた



『共産主義者の陰謀』は  
全く根拠が無いわけでもなかった  
19世紀になって世界で工業化が  
進むと貧富の差は一層拡大した  
王侯貴族と資本家は結託し植民地の  
奪い合いから第一次世界大戦を  
引き起こし大量の殺戮が行われた

この状況に  
特権階級と私有財産を廃止し  
企業を国営化して搾取をなくす  
という主張には一定の説得力があり  
多くの知識人を惹き付けた

1922年に成立した  
共産国家『ソ連』は  
いち早くそういう  
社会を実現したため  
フリをしたため

他国の知識人に  
多くの協力者や  
情報提供者を得た  
(スパイ説の根拠)

日本でも  
名門貴族だった近衛が  
政治を行うにあたって  
当代の知識人がブレイクとして  
集まり『昭和研究会』を組織した

『昭和研究会』は既存政党が  
政争に付け込まれて軍に翻弄  
されるのを見て『大政翼賛会』という  
一つの政党に纏めて  
議会の総力で  
軍に対抗しよう  
とした

ところが議会を生じる『大政翼賛会』  
にはナチスドイツのやり方を信奉する  
陸軍統制派のリーダー武藤章軍務局長  
なども賛同し協力者を送り込んだ



翼賛会は  
アカの巣窟だ



しかし肝心の  
議会の一党独占については右翼政治家  
平沼騏一郎が憲法違反だとしたため  
『大政翼賛会』は公事結社という議会で  
関係のないよく分からない物となった

その後40年10月〜42年4月にかけて  
『昭和研究会』の主導者で近衛内閣の囑託  
も務めた尾崎秀実ら多数がスパイ容疑で  
特高に逮捕された

ドイツ外交官リヒャルトゾルゲが  
その首謀者で真正正銘の共産主義の  
スパイだったことが発覚した

尾崎とゾルゲに親しく情報を  
提供していた近衛や武藤は驚愕し  
武藤は軍務局長を更迭された

その後も国家や軍部内にアカの  
スパイが暗躍しているという  
陰謀論は根強く残ることになる



天皇は話題を変えた

参謀総長は和を乞うにしても  
もう一度戦果を上げてから  
でないと中々難しいと  
言っていたが

近衛の考えはどうか



そういう戦果があれば  
誠に結構だと思われませんが  
時期が重要です

近い将来に必要で  
半年、一年先では役に  
立たぬでしょう



2月26日 重臣接見は最後に  
東條英機が呼ばれた

知識階級の  
敗戦必至論は  
誠に遺憾であります

アメリカは  
すでに厭戦気分が  
蔓延しており  
空襲はいずれ  
弱まるでしょう

ソ連も  
参戦の可能性は  
低いでしょう

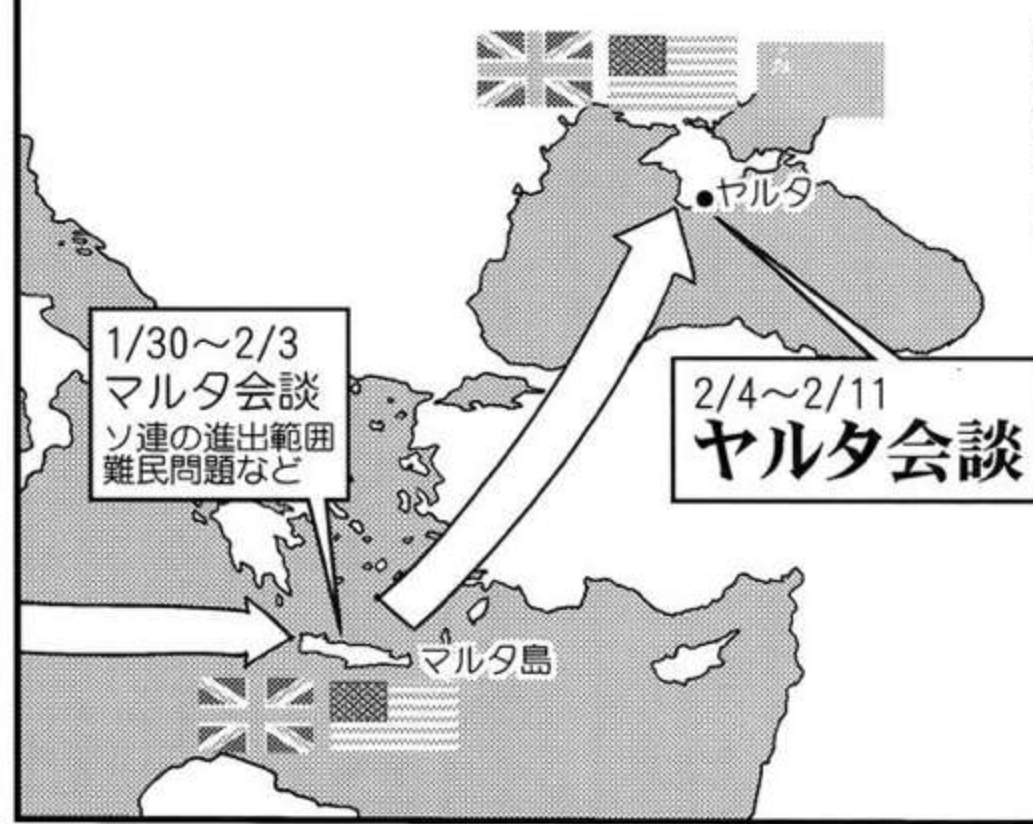
だが東條の  
根拠のない強気を  
あざ笑うかのよう

地球の裏側では  
再び勝者の話し合いが  
行われていた

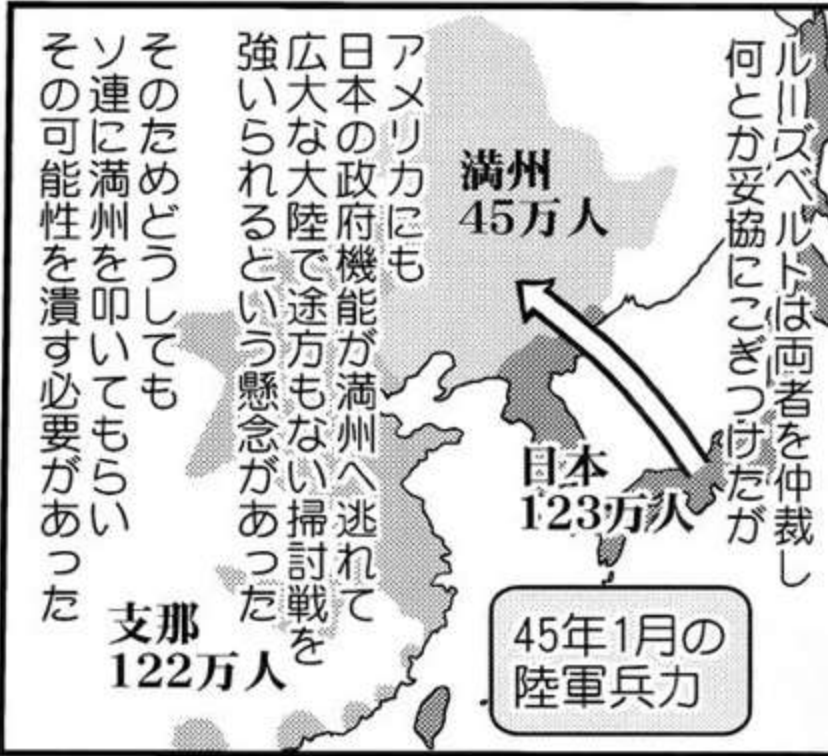




2月4日  
首脳会談はソ連が取り戻した  
クリミア半島のヤルタで  
行われた



難題はポーランドだった

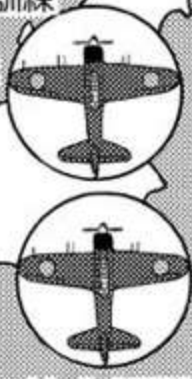




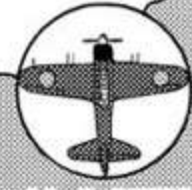
2月10日 フィリピンの上に北上してくる米軍を迎え撃つために

九州に新たな『第5航空艦隊』と搭乗員の早期錬成のため訓練部隊『第10航空艦隊』が新設された

『第10航空艦隊』  
訓練  
新



『第3航空艦隊』  
本土防衛



新



『第5航空艦隊』  
南西諸島方面

司令官には山本五十六の参謀長だった宇垣纏中将が就任した

『5航艦』はこれまでの臨時編成の特攻隊と違い最初から特攻を主力とする部隊編成がなされた

# 353航空隊

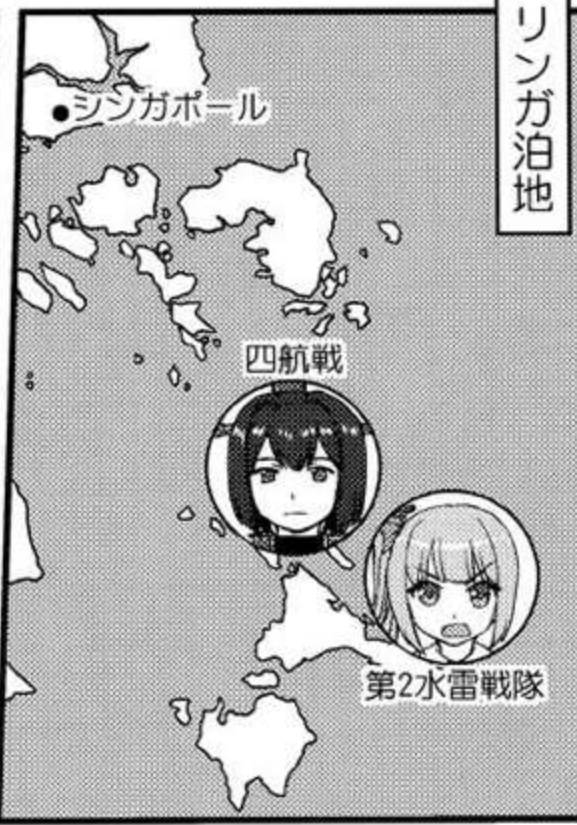
戦闘機『紫電』『紫電改』  
偵察機『彩雲』



士気を高めるためとにかく米軍を空戦で圧倒できる部隊が必要だ

熟練搭乗員、最新鋭機、燃料、レーダー、通信機などを自らの影響力で独占して今の日本で可能な限りの環境を整えた

リンガ泊地



オイお前達！戦線は北に行ってしまったってこんな所においても陛下のお役には立たん

商船達が特攻輸送を行ってるんだお前達も資源を積んで内地へ向かえ



こつちも好きで無為に過ごしてるんじゃないんだがな

やれとやられるならやりましょう



水上部隊の内地回航には賛成できないまさか全滅はしないだろうな(豊田長官)

まず半分辿り着ければいい方でしょう

日向、伊勢、大淀は運がいいからあるいは...



海軍軍令部

2月6日 シンガポールで積み込み



船団名は『完部隊』となった

これ一発食らったら火ダルマねー

完部隊  
『四航戦』日向、伊勢、大淀  
『第2水雷戦隊』霞、朝霜、初霜

2水戦はみんな錫とゴム持った？

石油2300トン  
ゴム3690トン  
錫2830トン  
タンクステン164トン  
水銀44トン 亜鉛40トン  
石油技術者1150人



ヨシ日本まで全速でぶっ飛ばすぞ

出港！

さっそく哨戒機に見つかつた

スコールに入りましょう

電探に敵潜水艦らしき反応あり





左舷雷跡8  
回避しろ!



日向さん  
お見事!



『完部隊』は断続的に  
潜水艦と爆撃機の襲撃を  
受けながらも被弾することなく  
危険海域を抜けていった

味方の旧式駆逐艦や二等駆逐艦による  
護衛が予定されていた区間も  
突き抜けていった

よし!  
天候悪化で  
敵機が出れない  
一気に行くぞ

あの…  
護衛を…

ついて行けない…  
さすが連合艦隊の  
主力部隊ね

2月20日  
『完部隊』は損害なく  
呉に到着した

バンザーイ!  
バンザーイ!

はは…  
ただ昭南から  
来ただけなのに  
バンザイって…

これっぽっちの  
資源がこんなに  
嬉しいんだ…

お前達よくやった!  
敵潜には出会わな  
かったのか?

いえ  
沢山いましたよ  
何回会ったっけ?

26  
回ですね

北号作戦

そうか  
ご苦労  
ところで

戻ってきたばかりで  
言いづらいのだが

『四航戦』はこれで解隊  
『日向』『伊勢』は予備艦  
『大淀』は練習艦とする

内地には  
お前達には  
燃料はない

一方『第2水雷戦隊』はこれで  
『潮』『響』を除いて呉に集結した  
旗艦を『霞』から『矢矧』へ移して  
軽巡+3駆逐隊の本来の形となった

後よろしく  
お願いします

出番があればと  
いいのだけれど



2月28日 本土決戦では国民全員が戦うという宮崎作戦部長の新方針のもと本土と兵力を引き抜かれた満州で複数回に分け『根こそぎ動員』が開始された



行政、生産、国民生活全てに支障をきたす空前の大動員計画に陸軍省は啞然とした

本年計画では4個師団だった59個など正気の沙汰ではない

一体兵備は数だけ多いのと少数でも充実したのとどっちが良いのか!

質よりもこの場合は数だ!  
数を第一とする!

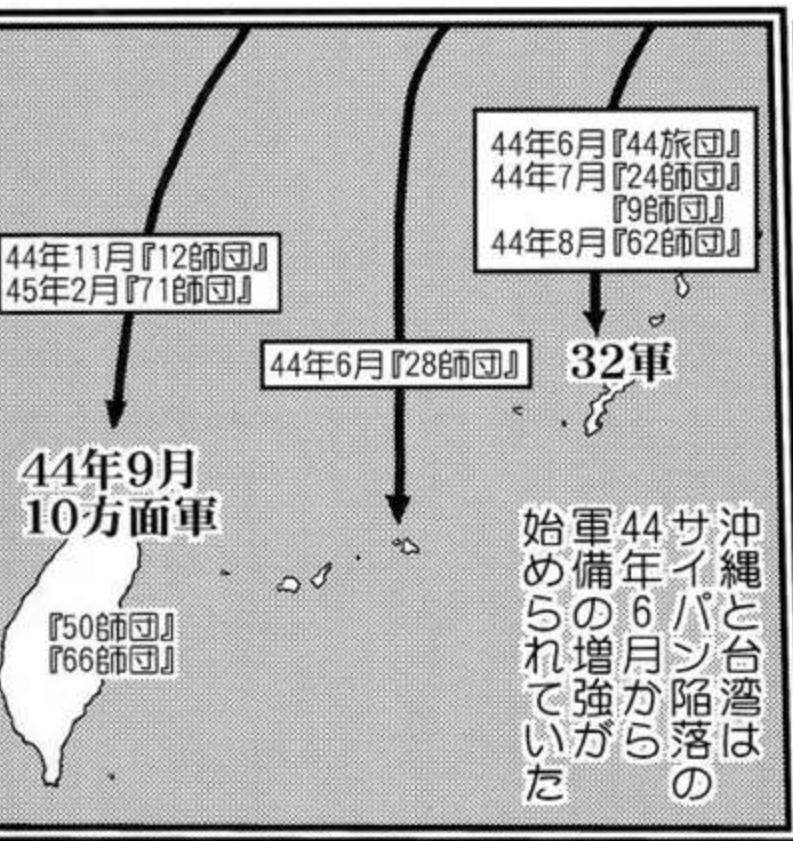
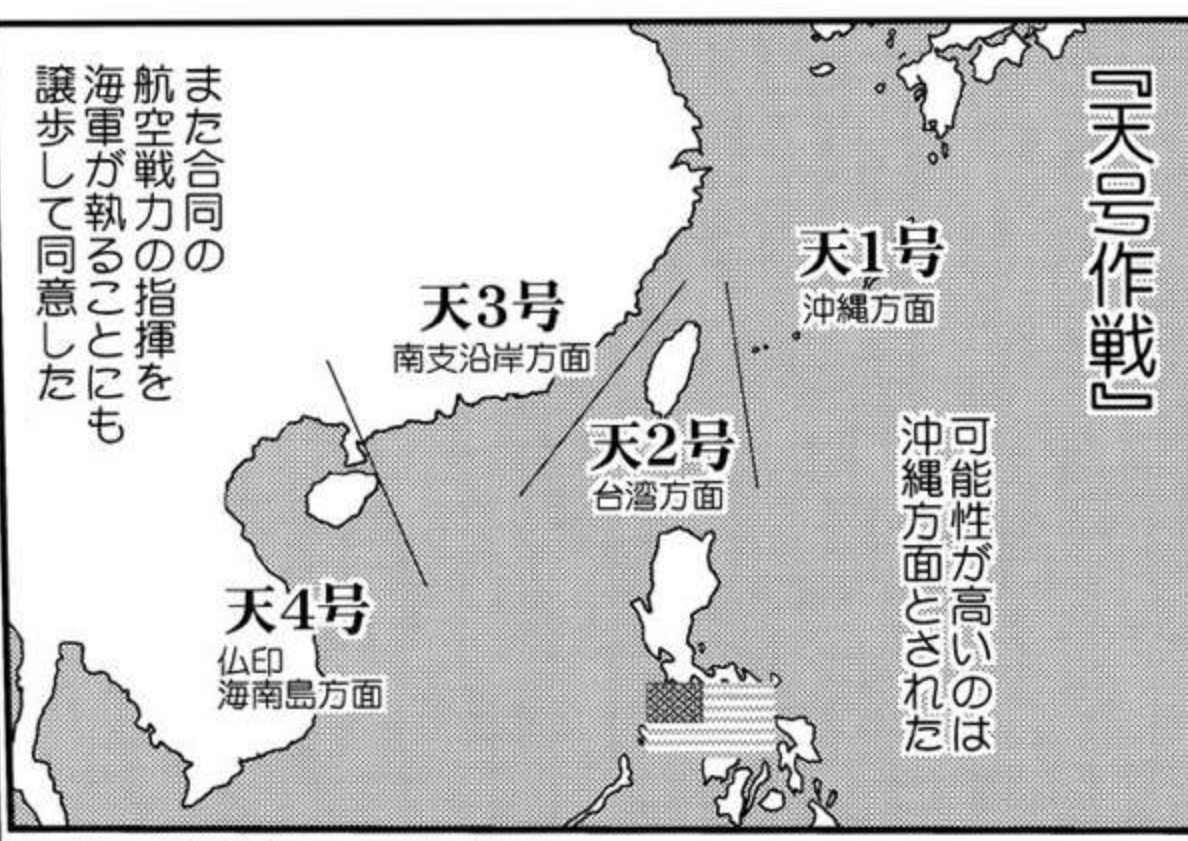
柴山陸軍次官

宮崎作戦部長

本土決戦は上陸第一波の撃摧が全てで失敗したらその後の計画は成り立たない

ともかくこの膨大な兵力を武装配備するまでの時間稼ぎが必要だった

3月1日 陸軍は海軍に協力を求め米軍の侵攻を航空総攻撃で阻む作戦が立てられた



沖繩ではいち早く軍、官、民一体となり『全島要塞化』の方針の下『根こそぎ動員』が行われた

44年 8/22 『対馬丸』撃沈 1484名死亡 (児童千名以上)

45年 2月～ 『本島北部疎開』 8万人が移動するも食住の用意はなく飢餓とマラリアで多くの死者を出す

戦力にならない住人は疎開させられたがこれも多くの犠牲者を出した

45年 5月～ 『戦争マラリア』八重山諸島の山間部への疎開で伝染病が流行し3647名死亡

日本兵の多くは沖繩は外地という偏見を持っていたが、学校では共通語教育が徹底され若者、役人、教師達は本土の兵より綺麗な日本語を話した

童、俺の言葉が分かるか

兵隊さん ここは日本ですよ

陣地構築では軍民が一緒に働いた中国でいわゆる『三光作戦』を行った『62師団』の兵は敵国の住民がどんな目に会うかを話して住民を恐怖させ娘達をからかった

特に若い娘は酷いもんだ俺が見たのは...

やめて下さい そんな話聞きたくないです

沖繩32軍の司令官は士官学校校長だった牛島満大將

温厚で実務は完全に参謀に任せ口頭で説明を受けたら書類は読まずに印を押した

参謀長の長勇中将は豪快な親分肌で過去にファシズムを賛美して『桜会』を起上げた橋本欣五郎大佐と共に天皇親政を目指すクレーターを計画した

決起集会では毎回芸者呼んで派手な宴会を開き大いに気炎を上げた

最初は賛同者も多かったが後に『二二六事件』を起す青年将校達はこの姿を見て『桜会』を去っていた

なるほどクレーターも必要悪かもしれないが成功した暁には首謀者は全員腹を切るべきだ

田中隆吉 局長 中務局長

黙れ!

支持者は減り続け結局『十月事件』と呼ばれたクレーターは事前に発覚し失敗した



32軍で作戦の実務を行っているのが高級参謀八原博通大佐だった  
アメリカ留学の経験を持ち  
長参謀長とは反対に集団で孤立し  
意見を曲げず人と衝突しやすかった

この方面の参謀達が戦力増強の説明を  
受けるため大本営に集まった時  
後宮参謀本部次長から  
対米軍必勝法の説明があった  
『陸海空とも戦力比では  
到底対抗できないので  
地下へ潜って戦うべし』  
『攻撃においては  
夜間密かに敵に接近し  
彼我混淆の状況を作り出すべし』

さて 諸君がもつとも  
懸念しているであろう  
敵戦車への対処だが  
我軍の戦車や速射砲では  
数が少ないうえ砲爆撃で  
みんなやられてしまう  
貧乏人が金持ちとまともなる  
戦ったら負けるに決まっている

そこで新案特許の新戦法  
『黄色薬を抱え戦車への体当たり』だ  
実験によると10kgあればいかなる  
型の戦車も爆砕可能である  
実行した兵は  
三階級特進だ！

どうだ八原  
立派な戦法だろう  
ワシはまだ記録して  
ないな  
はは：  
中央からは  
小手先の戦術でなく  
戦略の話の聞きかたかった

レイテ決戦が始まると  
参謀本部の服部卓四郎から  
比島方面へ32軍の1個師団を  
転出させる話合いを行うので  
台湾の10方面軍へ来る  
指示があった  
32軍は猛反発した  
配置と陣地作りの  
やり直しになる！  
抜けた分は補充する  
というならその師団を  
直接送ればいい  
八原高級参謀

長参謀長の指示で八原は  
会議では意見書を出すだけで  
沈黙を守って抗議を示したが  
10方面軍の参謀は  
服部の前で師団を  
台湾にこそ回すよう  
激しく主張した  
これで良かったん  
だろうか？

八原は服部卓四郎とは陸軍大学で  
一つ違いの後輩だった  
服部さん  
迫撃大隊の弾が  
1発もないので  
何とかありませんか  
……

結局大本営からは1個師団と  
迫撃大隊を台湾へ送る命令が来た  
何を  
勘違いしたんだ  
あの人は！  
砲だけあっても  
仕方あるまい  
32軍は歴戦の『9師団』より砲火力に  
優れる『24師団』を残すと決めた

ただし軍としては攻勢の  
主力を抜かれたので敵上陸後は  
持久戦に方針を変更する  
牛島司令官  
大本営は了承したが服部は独断で  
約束通り姫路の『84師団』を  
沖縄に増援する手続きを進めた

これを知った  
宮崎作戦部長は  
激怒した  
勝手な真似をするな  
本土からは一兵たりとも  
兵力を割くことは許さん！

2月12日  
服部卓四郎作戦課長は  
支那派遣軍の『第65連隊』  
連隊長へ異動となった  
開戦以来日本の戦略を  
担ってきた頭脳は  
二度目の更迭を受け  
今度は戻ることはなかった

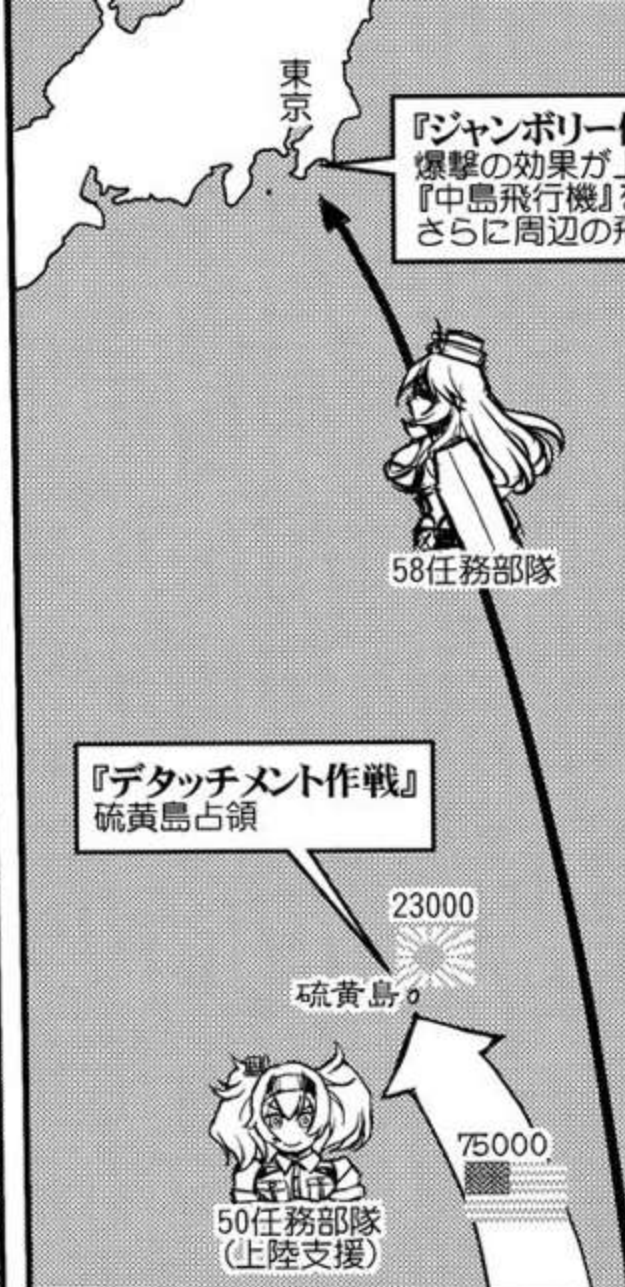


2月10日 米機動部隊がウルシー泊地を出発した

### さて 次の沖縄

と言いたいがその前に IWO島の飛行場を取る用事が入った

2月16日 5日間で占領予定のもと 硫黄島攻略と航空支援作戦が開始された



いよいよ トーキョー攻撃だ 目標はナカジマの工場と飛行場だ

旗艦バンカーヒル

本土だから それなりの反撃はあるだろうな

正規空母11  
軽空母5  
戦8巡15駆77  
1200機

日本も通信解析と偵察機の報告で 機動部隊の接近を知り 警戒を強めていた

敵機動部隊 来襲



『捷3号作戦』  
発動!

2月16、17日 100機5波の攻撃に対して 海軍『第3航空艦隊』、陸軍『第6航空軍』の防空隊が迎撃し、『高射第1師団』も 対空砲で奮戦した

陸軍は熟練部隊が積極的に空戦を挑み 逆に米軍は半数近くが初陣だったため 一方的な展開にはならなかった

戦闘後は互いに 過大な戦果を報告した

日本軍損失  
撃墜60以上  
地上撃破61  
船舶10  
中島工場に損害

米軍損失  
戦闘60事故28

報告戦果  
日本  
航空隊273  
高射砲部隊242  
米  
撃墜341  
地上撃破190

そこそこ損害も出たな 天候も悪いし切り上げて 硫黄島援護に向かおう



硫黄島にはサイパン陥落以来 ほぼ毎日のように空襲が行われていたが 上陸前の3日間は『島の形が変わる』程の 準備砲爆撃が行われた



摺鉢山の海軍砲台は 射撃禁止を守れず哨戒艇を砲撃したため 位置を知られて艦砲射撃で壊滅した

### 『射程範囲』





その中でも狭い硫黄島は全島がどこからでも飛行場を攻撃できる射撃場に作り変えられていた



後に名將の評価を得る司令官栗林忠道中将麾下の小笠原兵団は『一人十殺』の命令で22000万発の弾薬と共に米軍を迎え撃った

やっとな戦争が始まった

兵は半年以上猛訓練と地下陣地の重労働に耐えていた



よし行きましよう

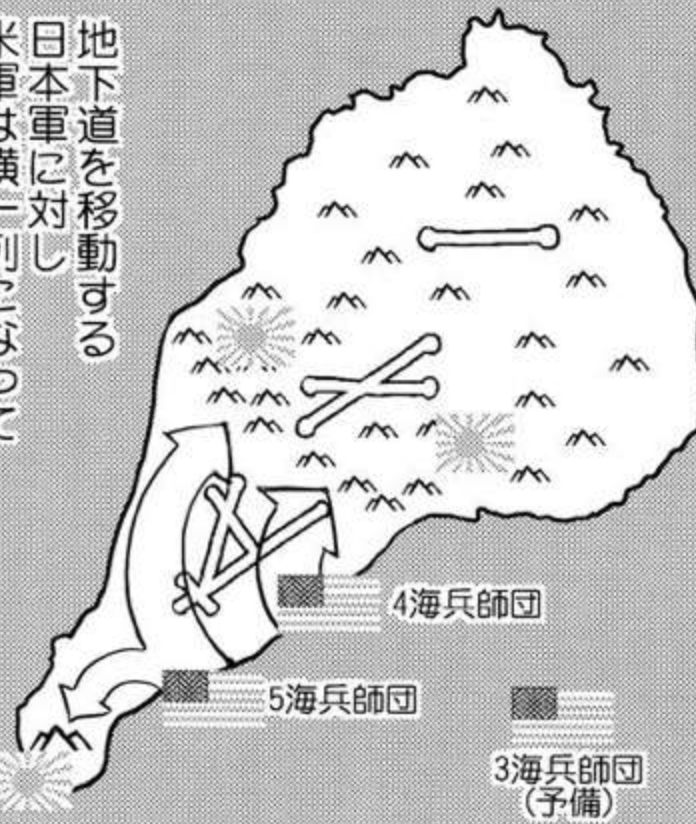


米軍が1時間で400m程進んだ時日本軍は太平洋戦争中最も激しい密度の集中砲火を浴びせかけた



上陸した海兵隊は全く動けなくなり初日だけで死者548、負傷者1755を出し、56輛のM4戦車も四方から撃たれ半数が撃破されるといふ海兵隊史上最悪の大損害を出した一日の損害では今に至るまで最大である

日本軍には後退する場所はなかった自分の担当地域で文字通り死ぬまで抵抗を続けた



地下道を移動する日本軍に対し米軍は横一列になって全ての穴を潰しながら1m毎に進んで行くしかなかった傍目には戦闘というより大規模な土木工事に見えたという

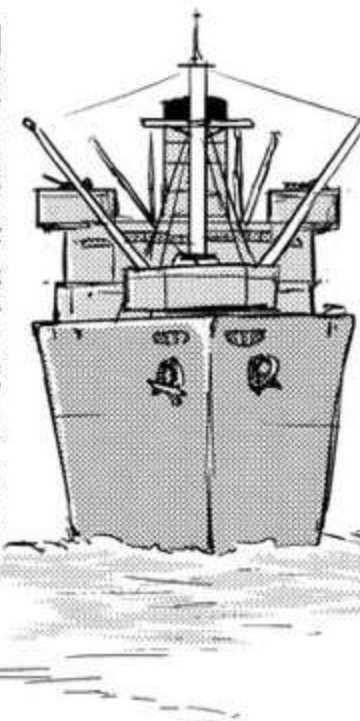
発表される損害の多さに衝撃を受けたワシントンシの新聞は21日の記事で国際条約で禁止されている『毒ガス』の使用を訴えた



ともかくもアメリカは条約を破る最初の国になるべきではない

米国では日本の防毒面を通すガスを開発しており上陸前に使用を検討したが専門家による有効性の疑問とルーズベルトの判断で中止された

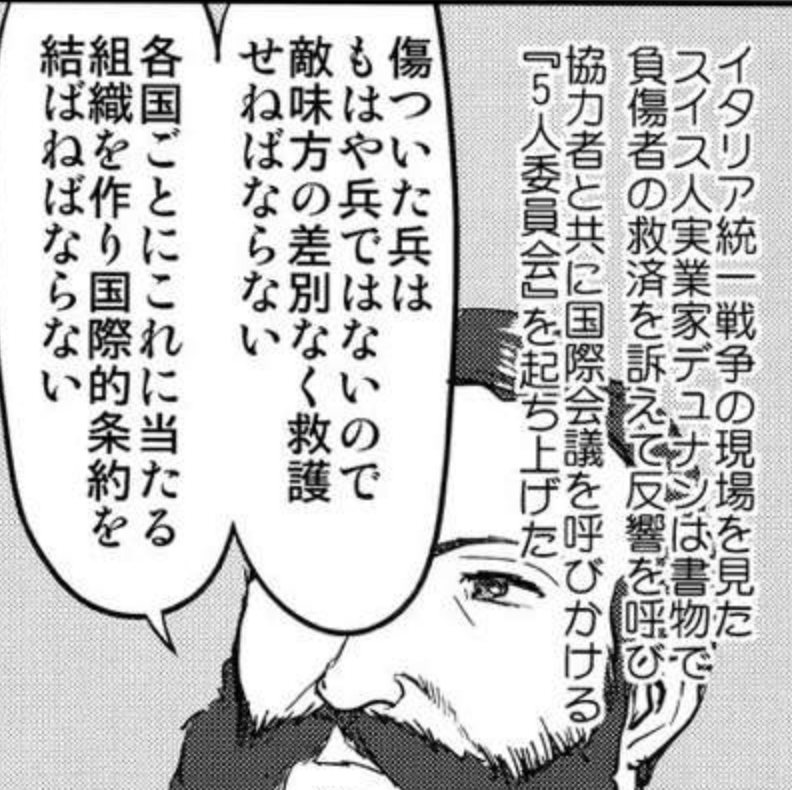
だがもし日本軍が先に使った場合



即座に報復攻撃に移れるよう日本軍の10倍という毒ガスを積んだ輸送船を常に沖に待機させていた

この国際条約とは1925年に結ばれた『ジュネーブ議定書』のことである

戦争の国際条約作りは1863年に始まった戦争に銃が登場すると共に大量の重傷者が出るようになった



傷ついた兵はもはや兵ではないので敵味方の差別なく救護せねばならない

各国ごとにこれに当たる組織を作り国際的条約を結ばねばならない

翌年にはスイスのジュネーブで16カ国の外交会議が開かれ『第一回赤十字条約(ジュネーブ条約)』が結ばれた

その後赤十字社と『ジュネーブ条約』は適用範囲と参加国を増やしながら拡大を続けた

そして1899年にはロシアのニコライ2世の提唱でオランダで万国平和会議が開かれ戦争のやり方に関する『ハーグ陸戦条約』が結ばれた主要26カ国で結ばれた



傷病者の為の『ジュネーブ条約』と兵士の為の『ハーグ陸戦条約』で戦争の国際ルールが出来上がった



日本も国際社会に歩調を合わせて条約に加入してきたが、33年の国連脱退後に追加された『俘虜の待遇に関する条約』には加入しなかった

日本は広い海に守られてるのに捕虜は保護するとなれば2倍の遠方から片道爆撃されます



我軍の兵は降伏しないので敵だけを一方的に利することになります



太平洋戦争が始まると懸念する米英に対して東條は宣言した  
条約に加入はしてないが俘虜の扱いに関しては条約に準ずる



しかし実際は捕虜の扱いは過酷で虐殺や禁止されている軍事目的への重労働など多くの虐待事例が起こった  
ドイツ軍捕虜となった米英軍兵士の死亡率は4%だが、日本の捕虜死亡率は実に27%となった

『戦陣訓』で禁じられた降伏や捕虜に関する教育は一切行われなかったため

投降を利用して不意打ちしたり条約に則り傷病兵を助けようとしたり敵兵を巻込んで自爆したりした

その結果太平洋の戦いは互いに捕虜を取らない容赦ない殺し合いとなった

逆に捕虜になると偽名を名乗り身元は隠そうとしたが



殺されないと分かる軍事情報は聞かせるままだけでも答えた

日本兵は死ぬこと以外何も教えられていない寛大に扱われるとプライドや面子から同等の『お返し』をしようとする

将校ですら貴重な情報を教えてくれる

捕虜を虐待したり殺したりするなり我々が捕虜から有益な情報を得られなくなる



引いては戦争が長引き諸君の帰国も伸びることになるのだ

投降の呼掛けは流暢な日本語と寛大な内容で行われるようになった

ニッポンノ兵隊サン アナタ達ハ立派ニ戦イマシタ 水モ食物モアリマス

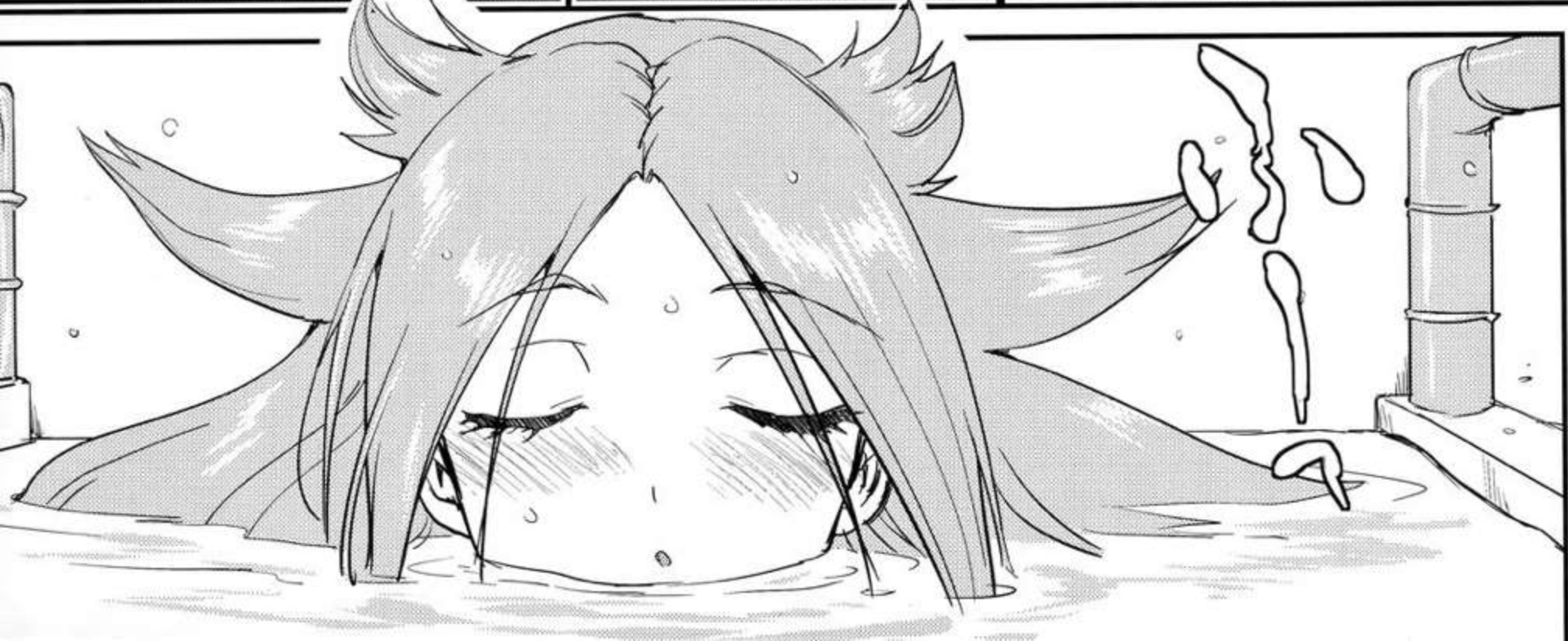
一方、日本軍の敵捕虜への尋問はしばしば威嚇や暴力が使われた

尋問に当たっては腕力が指針とならねばならない勝者は優れていて敗者は劣っているという空気を漲らせるべき捕虜に将来の不安を覚えさせ精神的に疲弊させるのが良い

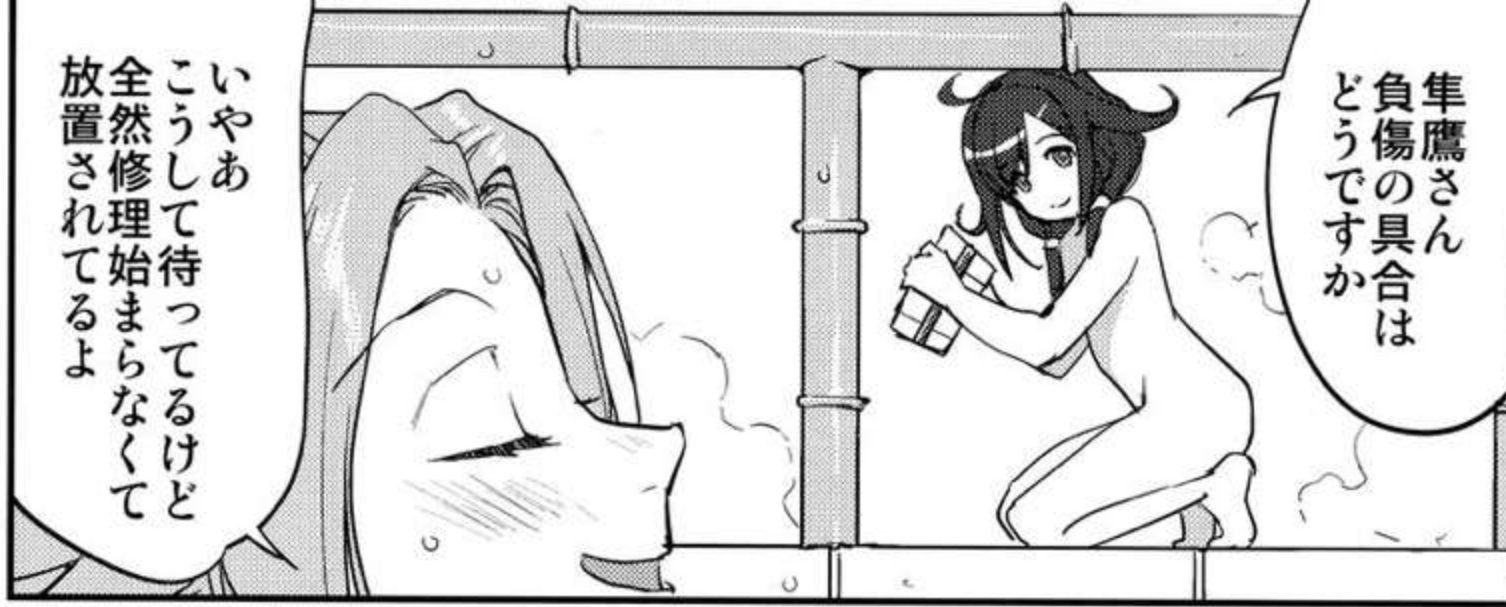
米軍 情報広報『日本軍の謀報と傍聴の手段』1944/6号



広島県 呉







隼鷹さん  
負傷の具合は  
どうですか

いやあ  
こうして待ってるけど  
全然修理始まらなくて  
放置されてるよ



あつちで  
榛名はんも  
毎日待ってる



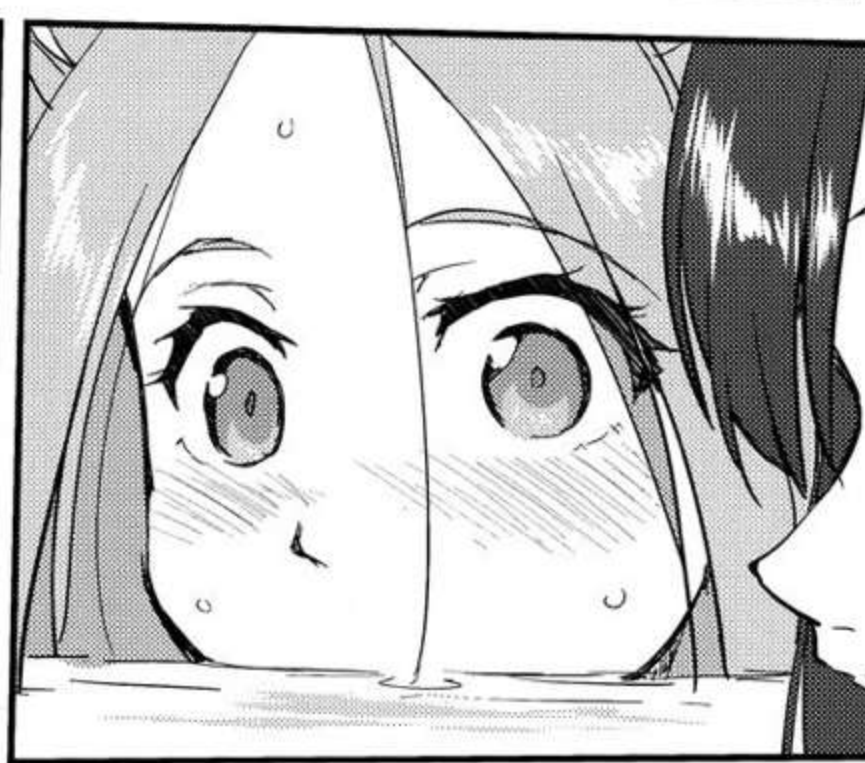
ここも  
誰も居なく  
なっちゃいましたね

資材は特攻兵器や  
輸送船に回ってるからなあ



とうとう特攻かあ  
…せめて

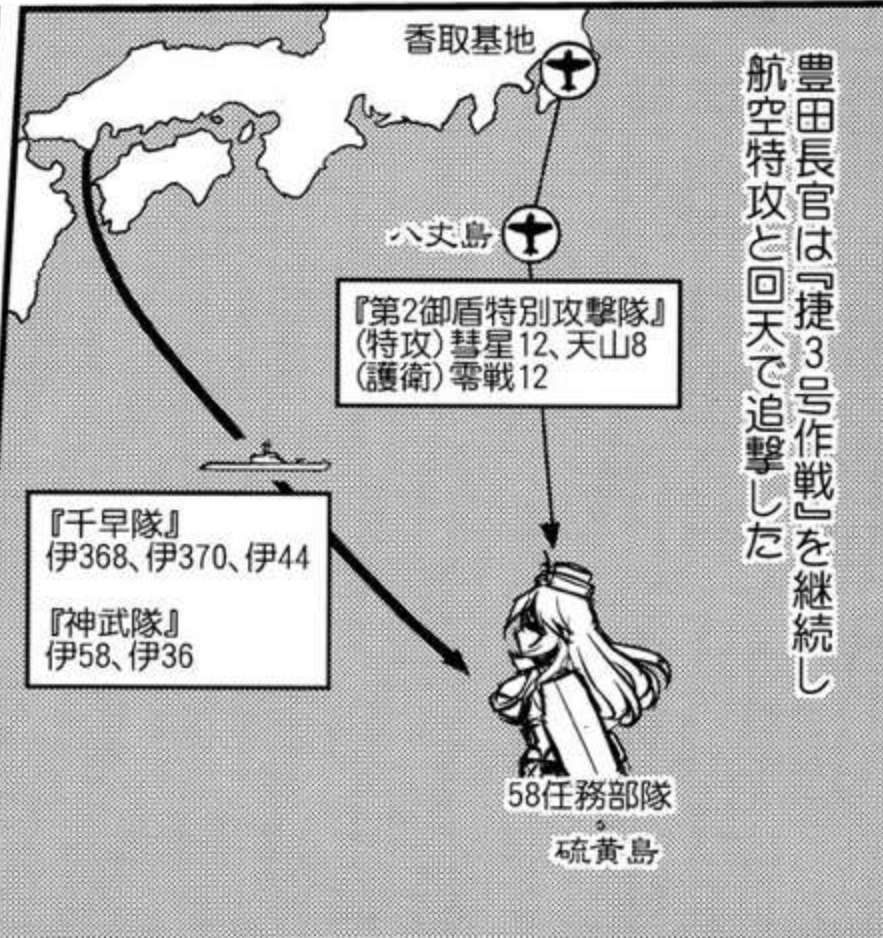
空母部隊  
最後の意地を  
見せてほしいな…



601が  
硫黄島に特攻に  
向かったそうです



2月21日  
『第2御盾特別攻撃隊』と  
名付けられた『601航空隊』は  
32機が5隊に分かれ  
米機動部隊に  
突入した





第一攻撃隊の彗星2機が護衛空母に命中  
『ヒュスマルク・シル』撃沈



天叟1機が  
護衛空母『ルンガ・ポイント』  
に接触し損傷を与える

第二攻撃隊の彗星1機が  
輸送船撃沈



第四攻撃隊の天叟1機が  
戦車揚陸艦大破

第五攻撃隊は4機全機と爆弾2が  
『サラトガ』に命中



大破した『サラトガ』は帰国し  
ワシントンでの海軍造船所で  
3ヶ月の修理となった



修理後も  
前線へ戻ることはなく  
ここで戦争から退場した

一方、回天の『千早隊』は  
2隻とも哨戒部隊に撃沈されに

それを受けて  
『神武隊』には  
帰還命令が出され

3月6日  
硫黄島の回天作戦は  
戦果なく中止された

海上護衛総司令部

ハイイ皆さん  
海上護衛隊も  
いつまでも受身だけ  
じゃないですよ

対潜装備を強化した  
私たち『102戦隊』は  
敵潜水艦を攻撃に出ます!



番号!



『ヒ86』護衛でやられた  
『101戦隊』の仇を  
とりましょう!

2月22日  
『101戦隊』に続いて編成された  
『102戦隊』は南号作戦の支援に  
潜水艦掃討『AS作戦』を開始した

いつもは  
探さなくても  
いるのに!

3/19~4月  
『AS3作戦』

3/13~17  
『AS2作戦』

2/22~3/12  
『AS1作戦』

しかし幸か不幸か  
3回に渡った掃討作戦は  
戦果も損害もない  
ボウズに終わった

春月  
『103戦隊』  
駆逐1+海防6  
南号作戦の  
護衛に従事

4月10日  
『104戦隊』  
占守+海防5  
北方海域の  
護衛哨戒

5月5日  
『105戦隊』  
響+海防6  
日本海の  
護衛哨戒

『第1護衛艦隊』の  
対潜水艦戦隊は終戦までに  
さらに2つ編成された







2月3日 米軍は日本軍の予想を超える早さでマニラ市内に進軍中心翌日には包囲を完了した

マニラは日本占領時に無防備都市宣言をして明け渡され44年に米軍の空襲が始まったので市街地は避けられていたため70万の市民は疎開せずに市内に残っていた

2/16~27 コレヒドール島の戦い 日本軍4500と『震洋』136隻以上が玉砕 隣のフレイル島も 3/25に玉砕

1/31 空挺1個師団が上陸と降下



日本軍は持ち場放棄や逃走が相次ぎ7日、13日に掛けてゲリラと見境なく市民数千名を殺害、女性を暴行した司令官の海軍岩淵少将の期待を全く裏切る一状況となった



右往左往するマニラ防衛隊は次々とゲリラに狙撃された



民間人を集めただけの『マニラ防衛隊』は武器もなく竹槍を渡され斬込みを命じられた早く出て米軍陣地へ突撃しろ！行かんこの場で叩っ斬るぞ！

悔しい： どうしてこんな勝ち目のない作戦を立てるんだ！



2月26日 日本軍はインドラム回ヌの狭い地域に追い詰められ岩淵少将は自決 2300名がマニラを脱出して東の山岳地帯へ逃れた

3月3日 マニラ陥落

日本軍死者1万2千 米軍死者1千の 戦闘に巻き込まれて マニラ市民10万人が死ぬという 迷惑極まる戦いとなった



南部ルソン島の『振武集団』横山中将は17日、全マニラ部隊の撤退命令を出し同時に脱出援護の攻勢を行った

混戦により 今となっては 脱出は不可能

しかし守備隊は死守方針を変えず、攻撃も600名を失って19日には撃退された



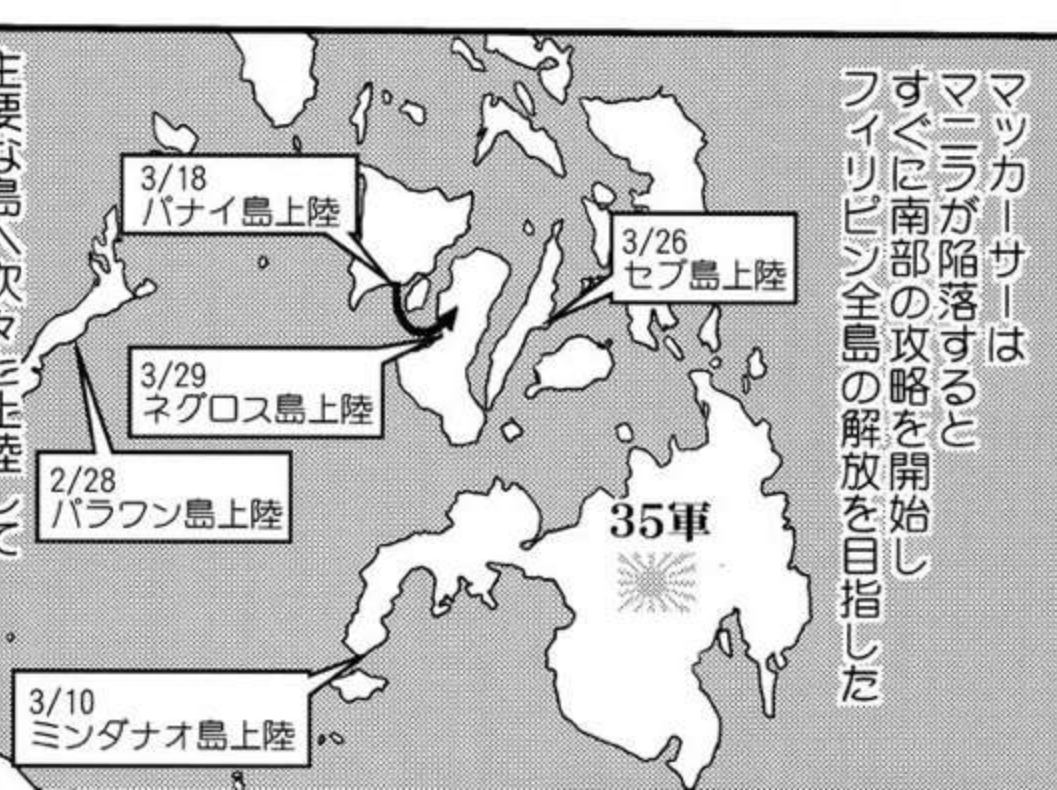
中野がまだ来ません！ 乗れ！ もう待てない

鈴木中将と35軍司令部約150名はミンダナオ島で『永久抗戦』の指揮を執るため20日から2回に分けて島を脱出した



レイテ島

3月17日 深夜 空の大発2隻が決死のレイテ島突入を行った



マッカーサーはマニラが陥落するとすぐに南部の攻略を開始しフィリピン全島の解放を目指した

35軍

3/18 パナイ島上陸

3/26 セブ島上陸

3/29 ネグロス島上陸

2/28 パラワン島上陸

3/10 ミンダナオ島上陸

主要な島へ次々と上陸して周辺の小島共々占領していった 日本軍は山中へ逃げ込むしかなかった



残る  
1万3千の  
日本兵は

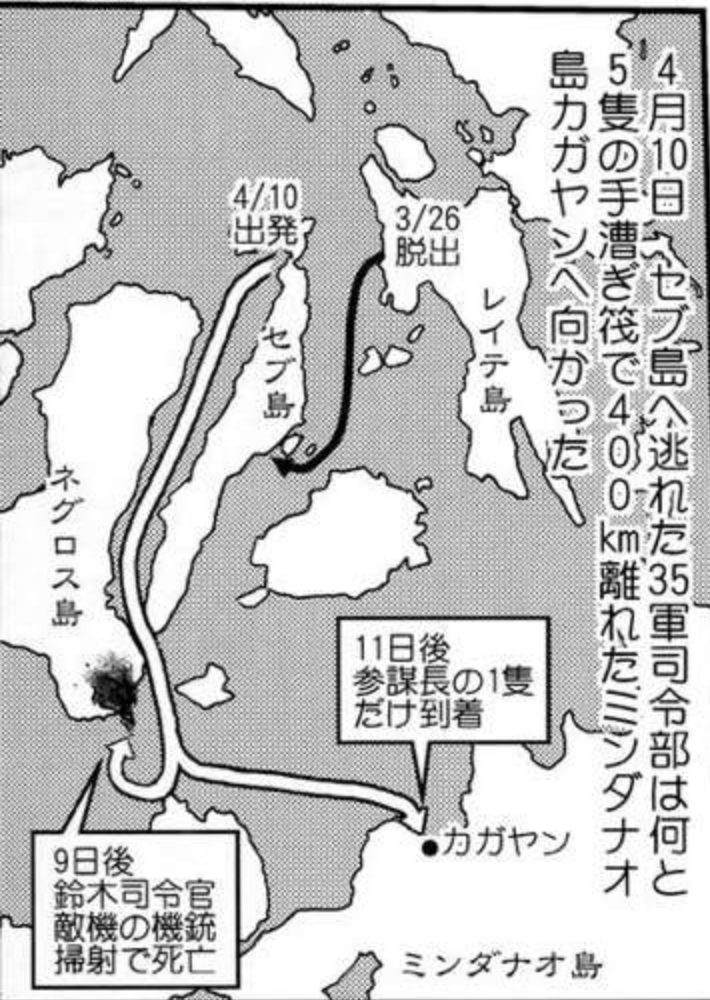
食料ゼロの  
状態で

敵中に  
置き去りに  
された

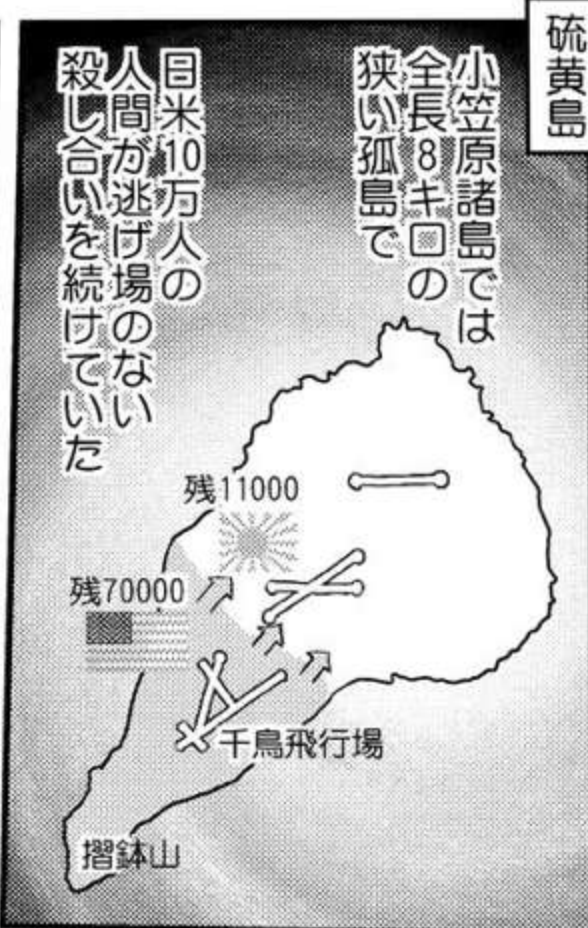


レイテ島の日本軍は  
この後消えてしまった

終戦後  
山間部からは一人の生還者もなく  
どういふ最期を迎えたのか不明である



硫黄島



平地と飛行場は取った  
後は掃討戦だ  
ウルシーへ戻ろう





メレヨン島は絶対国防圏の一つとして6426名の守備隊が配置されたが

マリアナ戦後は放置されすでに2千名が餓死していた

メレヨン島

ウオレアイ環礁

潜水艦の補給はあるが見ての通り毎日餓死者が出る状況だ内地との連絡はもう一年以上取れてない

なんと体当たり攻撃を？それは天晴である

我々メレヨン守備隊は『梓特別攻撃隊』の敢闘精神をここに称えるものである

芋だ：多分最も貴重な品なのだろう

思えば御馳走を食べて20万もする棺に収まって敵を道連れに死ねる特攻隊員は恵まれてるのかも知れない

※20万円の棺：特攻機

サイパン島 米第20戦略爆撃団

『鬼畜』

カーチス・ルメイはサイパンに赴任していた

この部隊は受けてる名声ほどの結果は出していない

ドイツの都市爆撃で名を挙げたルメイは今度は日本の都市を焼く任務を与えられた

ルメイの人物紹介にはもれなく『嫌なヤツ』という表現がある

戦後のキューバ危機では先制核攻撃をケネディに迫り大統領を悩ませた

ルメイは爆撃法を変更させた

高精度精密爆撃をやめ低空での爆撃を行う

工場だけでなく周辺住宅街へのナバーム焼夷弾での無差別爆撃に切替える

日本はドイツと違い兵器の部品は家内手工業で作られている全てが爆撃目標だ

『嫌なヤツ』はさっさと嫌な仕事も始めた

B29の対空武装を取り外しその分爆弾を多く積む

防空の編隊は組まず一列になって焼夷弾を投下し火勢を強める

機銃を外して：ダメだ次の出撃で俺たちは死ぬ

一方、日本政府は焼夷弾爆撃の対抗策として住民自身に自宅の消火をやらせることにしていた

初防期火第

空襲被害は最初の一分！  
速く逃げな！  
必死で消火！

消火は消火！  
消火は消火！  
消火は消火！

待避は待避、焼夷弾には  
空襲だ！空襲の絶滅には  
空襲隊所の宿直強化！

帝 都 翼 賛 年 壯 團  
翼 賛 年 壯 團

町内会や隣組ではバケツリレーや火叩きでの消火訓練が繰り返された

そのため勝手な疎開は罰金や刑罰が課され配給が減らされた

また近所からも『非国民』と非難された

迅速に消火活動ができるように自宅に待避壕を作るのが推奨され爆撃中はそこで待機となった

日本へ投下された『M47』『M50』『M69』などの焼夷弾はナフサとパーム油で作られたゲル状の燃料が飛び散る爆弾で



1発のままで貫通力の強いタイプ  
空中分裂するクラスター爆弾タイプなどがあつた

3月10日 ルメイの新方針のもと

334機のB29が東京江東区に19万発2000トンの焼夷弾を投下した

※：爆撃機数は常に諸説あり





政府が進めた  
床下や庭先の防空待機所は  
『人間の蒸焼き場』と言われた



町内会の  
バケツリレーと  
火叩きに集まった  
隣組は丸ごと  
焼き殺された



焼夷弾の集中投下に  
折からの季節風と  
高熱による乱気流が加わって  
『火災旋風(火の竜巻)』が発生し  
火災を広める  
という目的は  
驚くべき成功を収めた

隅田川を渡ったと  
言われる火災旋風



長門さん

東京の空が  
真っ赤に…



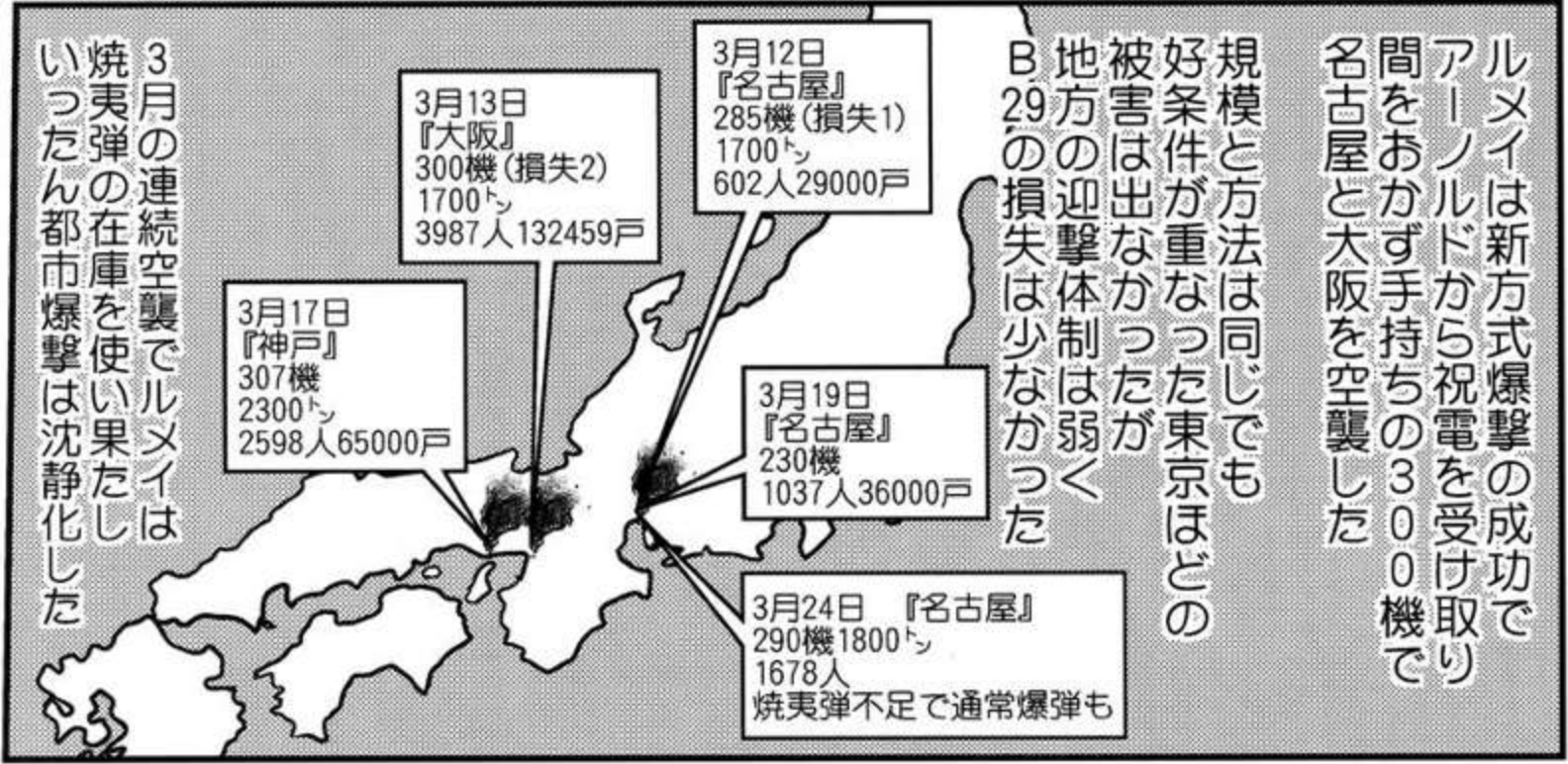
あああ  
あああ

空襲は0時から2時間だったが  
火災は朝8時まで続き  
東京35区の1/3以上を焼失した

B29は事故含め14機が失われた  
日本は46機が迎撃し高射砲と合わせ  
『撃墜15撃破50』と発表した



東京は死体を片付けるのに  
2週間かかった



3月18日 天皇は側近の心配を  
押し切って焼け跡を視察した

関東大震災の時は  
一面何もなかったが

今回はコンクリートの  
残骸が残っているので  
一段と悲惨で胸が痛む  
これで東京も  
とうとう焦土になったね



あれは天皇旗  
…もしや陛下!  
誰も気づいて  
ないのか!?



警視庁によつて発表された被害は  
死者8万3793人  
負傷者4万918人  
被災家屋26万8358戸

実際は  
死者・行方不明者合わせて  
10万を超えると言われる



もう戦争は勝ちでも負けてもいいから早く終わって欲しい

日本は

負けるのか

東京大空襲

シンガポール

3月19日「南号作戦」は被害続出で中止が決まり「最後に残存船全で『188』船団」を組んで出発しようとしていた

その出港待ちなさいー!

間に合った!これが最後の船団ね

私も一緒に行くから

カゴッ カゴッ

天津風:あなたその身体で日本まで戻るつもり?

止めた方がいいわよ

南号の半分以上は沈んでるって話だし私も一度出発して引き返したわ

何のこれしき!私と雪風は陽炎型のツートップですから

けん けん

それに雪風のバカも寂しがってるだろうから

ちゃんと内地で修理して早く『16駆逐隊』を復活させてあげなきゃ



3月19日に出発した『E88J』は直後に機雷でタンカー1隻を失い23日にサンジャックで貨物船3隻を分離した

その後 航路護衛の3隻 壊滅した前船団『E88-1』の生残り駆潜艇1と合流しつつ北上した

『E88J船団』  
タンカー4  
貨物船3  
海防艦5  
天津風

サンジャック

シンガポール

いよいよ危険海域ね

安全な海域なんてもうありませんよ

3月28日 B24の空襲と潜水艦『ブルーギル』の雷撃でタンカー2隻沈没

海防艦にも付いて行けない  
無力：余りに無力

3月29日 今度は潜水艦『ハンマーヘッド』の雷撃で海防艦『84号』が轟沈

さらに  
フィリピンの米第5空軍から『B25』12機が来襲した

B25は因縁の反跳爆撃で最後の小型タンカー『海興丸』と海防艦『18号』『130号』を撃沈

きやああああ

速度を落とすな！  
あきらめず回避を続けて！

船団は対空射撃で1機を撃墜した

3月30日 護衛の3隻と『26号』『天津風』だけになった船団は何とか香港に入港した

もう

どこに行っても湧くわねコイツら

だが到着直後の香港空襲で『26号』が大破航行不能となった

最後の船団『E88J』は香港までで全滅した

なんて日本が遠いのかしら…

戦争の目的  
南方資源輸送はここに消滅した

四国、九州沖

3月18日 ウルシーで準備を整えたスプルーアンスの機動部隊は再び日本近海に出現し

旗艦  
バンカーヒル

まずは後方を叩く！  
自殺攻撃に気をつける

沖繩攻略『アイスバーグ作戦』に向け1400機で九州、四国、和歌山の航空施設に襲いかかった

『第5航空艦隊』の宇垣纏長官は『天号作戦』に備えて戦力温存という海軍の方針を破って全力の反撃を行った

むざむざ地上で撃破されるくらいなら出撃して攻撃せよ！





各基地で米軍を邀撃に飛び立った  
零戦は空戦で47機が撃墜され

さらに50機が地上撃破された



機動部隊の攻撃に  
向かった『5航艦』の主力  
193機(特攻69機)は

『イントレピッド』に  
特攻1機が命中

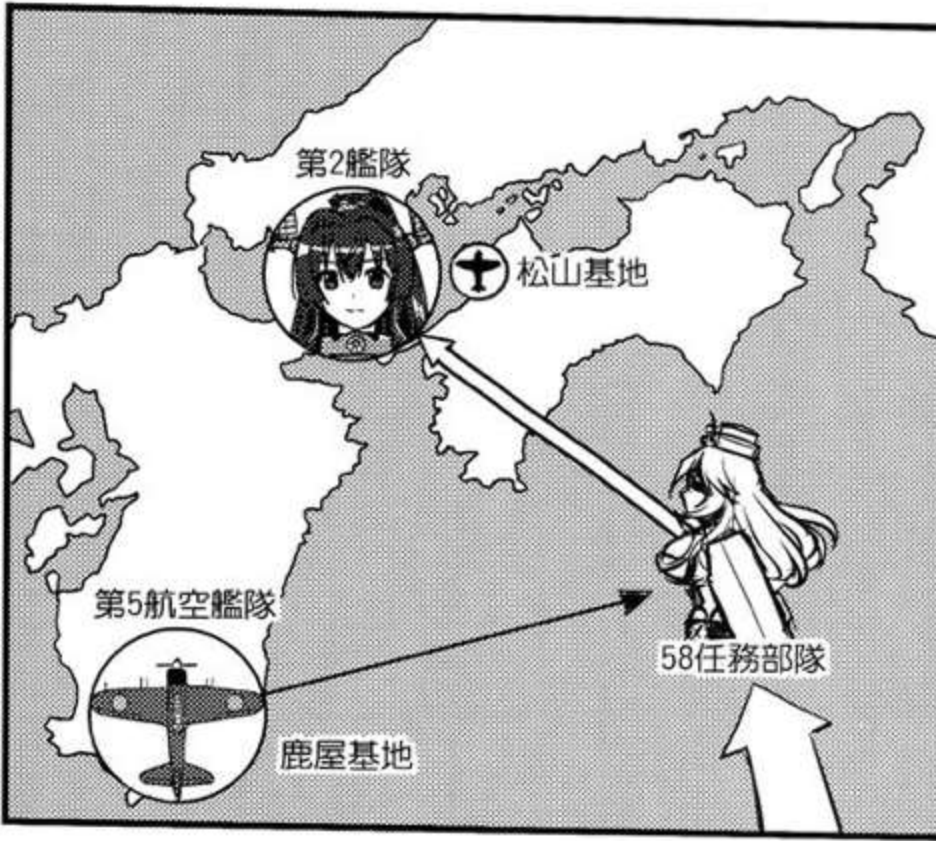
急降下爆撃で  
『エンタープライズ』  
『ヨークタウン』に  
爆弾1発が命中

空母3隻を小破させたが  
161機を撃墜され壊滅した

この日、日本軍は250機以上を失い  
米軍の損失は29機に留まった



翌3月19日 機動部隊は  
さらに大胆に四国沖まで  
接近し呉軍港を空襲した



敵機来襲!  
全艦戦闘配置

夜が明けると米艦載機  
350機が呉上空に現れた



フン!  
どのみち戦艦には  
隠れる所なんて  
ないからね

来るなら  
来なさい!

呉まで  
敵の戦闘機が  
来た

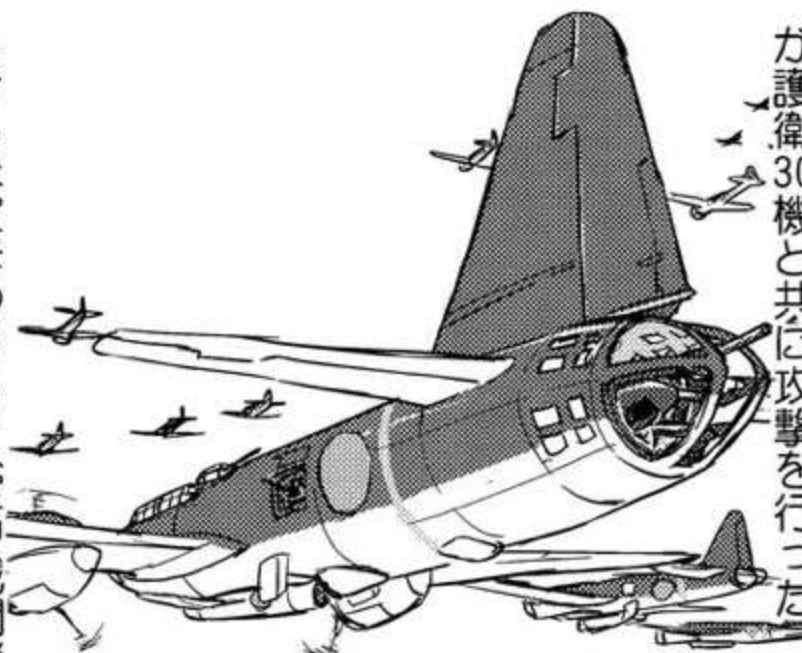
松山基地からは源田実の  
精鋭部隊『343航空隊』が  
新鋭機『紫電改』56機と  
『紫電』7機で邀撃に発進した

目標は敵戦闘機!  
爆撃機には構うな!  
空戦で敵をねじ伏せる





21日には長年準備してきた人間ロケット『桜花』15機と一式陸攻18機の『神雷部隊』が護衛30機と共に攻撃を行った



松本零士『音速雷撃隊』のモデルだが実際は空母を見ることなく15分で全滅し『桜花』の大編隊攻撃はこれが最初で最後となった

しかし米空母のCAP(空中戦闘哨戒)24機の攻撃で神雷部隊全部と護衛10機が一方向的に撃墜されて終わった(米損害2機)

3月23日 大勝利の発表が行われた

大本営発表  
撃沈 空母 5隻  
戦艦 2隻  
巡洋艦 3隻  
その他 1隻

撃墜 180機  
多分2機  
落しました

日本損害 150機

榛名は  
大丈夫です!

『343空』は16機損失で58機撃墜を報告し豊田長官から感状を授与された(戦後の紫電改神話の元となる)

九州沖航空戦

何か今までの七面鳥と違うジャップがいたな

訓練と経験をよく積んでる部隊で驚いたぞ

実際は『343空』の戦果は14機だったがともあれ源田部隊は互角に戦った

宇垣の攻撃に引つ張られる形で3月20日には『天号作戦』が発動され陸軍は『第6航空軍』を連合艦隊の指揮下へ入れた

ここに至ってようやく陸海軍の航空戦力が統一指揮下で戦うことになった

『第6航空軍』はこの時まで1800機を温存していた

『第5航空艦隊』は戦力を消耗したがまだ『第3、10航空艦隊』もあった



九州沖航空戦と前後して『伊8』ほか潜水部隊が南西諸島沖の哨戒に向かった



『天号作戦』は発動されたが次の米軍の上陸地はまだ絞れず

参謀本部はルソン島のすぐ北の台湾を有力視していた



一方海軍軍令部は米機動部隊はウルシー泊地へ戻ったと判断した

『捷3号』発動を受けて硫黄島から小笠原諸島に北上してくる案も考えていた



ところが

お



沖縄です



米艦載機の攻撃で港内の艦は次々被弾したが大破や沈没は無かった

『大淀』が中破

『榛名』

『日向』

『利根』

『天城』

『龍鳳』が小破

調子に乗り過ぎですッ

『大和』  
『葛城』  
『鳳翔』  
『海鷹』が軽傷

他に潜水艦や未完の空母なども被害を受けた

日本は『343空』と艦艇の対空射撃で29機を撃墜した

九州の『5航艦』は連日必死の反撃で機動部隊に襲いかかった  
近くからの全力攻撃は空母部隊も完全には防ぎきれなかった

呉に最も接近していた『フスプ』は250kg爆弾が甲板を貫通し爆発大破した

『エセックス』も損傷を受けた

『フスプ』と同じく『フランクリン』は『銀河』の緩降下爆撃で徹甲爆弾2発が甲板を貫通し格納庫で大爆発を起した

フランクリンが

沈む

ガハハ

アーユー  
オールライト!!  
フランクリン!!

しっかりしろ

シット!

エセックス級の沈没一号になってたまるか...

『フスプ』と『フランクリン』は何とか沈没を逃れ本国へ長期修理に戻っていった

『フランクリン』はこのまま戻ることなく戦争から退場した

翌3月20〜21日  
前日までの戦いで米艦隊に大ダメージを与えたと判断した宇垣長官は南下する敵に追撃を続けた

第5航空艦隊

鹿屋基地

58任務部隊



3月23日 沖繩本島への艦砲射撃と

機動部隊も加わった  
2000機による爆撃が開始された

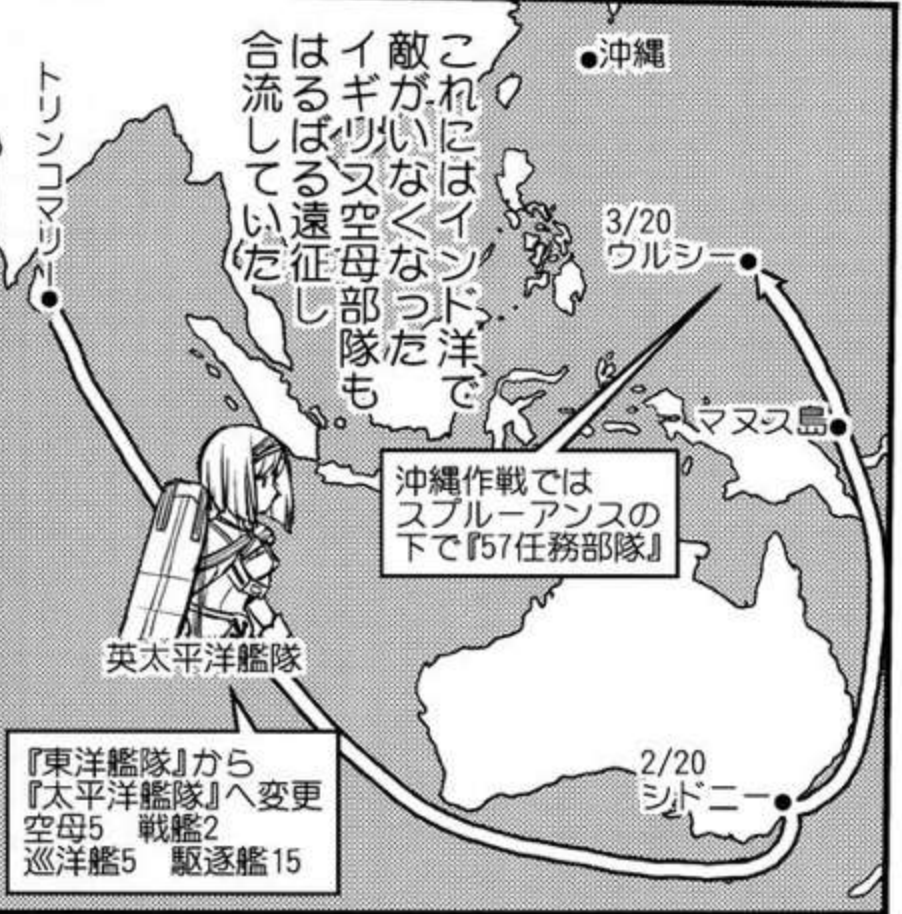
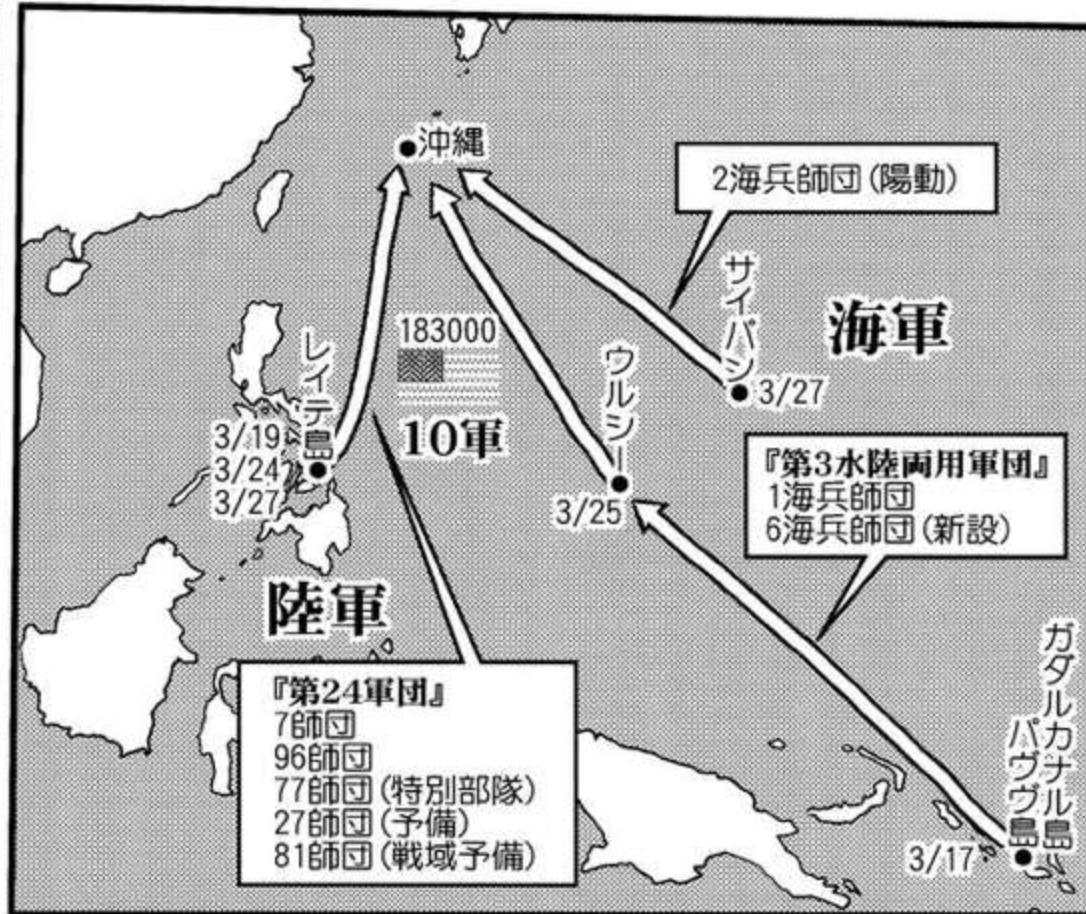
甲潜水部隊は同海域に留まって米艦隊の報告を続けたが9日までに全て哨戒艇に撃沈された

3/22 『呂41』撃沈  
3/25 『呂45』撃沈  
3/31 『伊8』撃沈  
4/9 『呂56』撃沈

駆逐艦『ストックトン』『モリソン』に追い詰められて最後に浮上して撃ち合う『伊8』

あめあめ

上陸部隊は陸海合同の『第10軍』で九州沖航空戦の間3月19日から各地を出発し沖繩へ向かっていた



参謀本部は住民の避難と保護方法を指定しているが敵が避難地へ迫りいよいよとなった時どうするのか何も指示がない

本当に女子供や老人に竹槍を持たせて全員玉砕するまで戦わせるのか？

軍官民一体となり全軍特攻、一億玉砕というが軍中央はどこまで本気なのか？

大本営はまだ陽動を警戒していたが現地の32軍は沖繩侵攻を確信していた

間違った上陸してくる

八原高級参謀は住民で数個大隊の『防衛隊』を編成して『9師団』の抜けた穴を埋めたが根本的な問題を直視していた

沖繩は最後の戦いではない日本繁栄のために役立つ

アメリカは文明国だ降伏という言葉だけにさせるべきではない

武器なき老幼婦女子を駆って最後の一人まで戦うと言うが如きは人間の本質を無視する神がかり的なうわ言に過ぎぬ

反東條派 田中隆吉中将

現実問題として素人が前線をうろついても邪魔になるだけだ

かといって女子供が惨たらしく死んでいくのを放つもおけない

だが下手に中央に問い質して建前が命令になっても困る



# 結局この問題は曖昧なまま戦いが始まり、多くの悲劇を引き起こした

**サイパン**  
3月27日

焼夷弾がなくなつたルメイは代わりB29に機雷を積みさら「ライヤな作戦」を開始した



「飢餓作戦」(名前からして嫌である)

航路を機雷で封鎖して日本の海上物流を麻痺させ飢える地域を発生させる

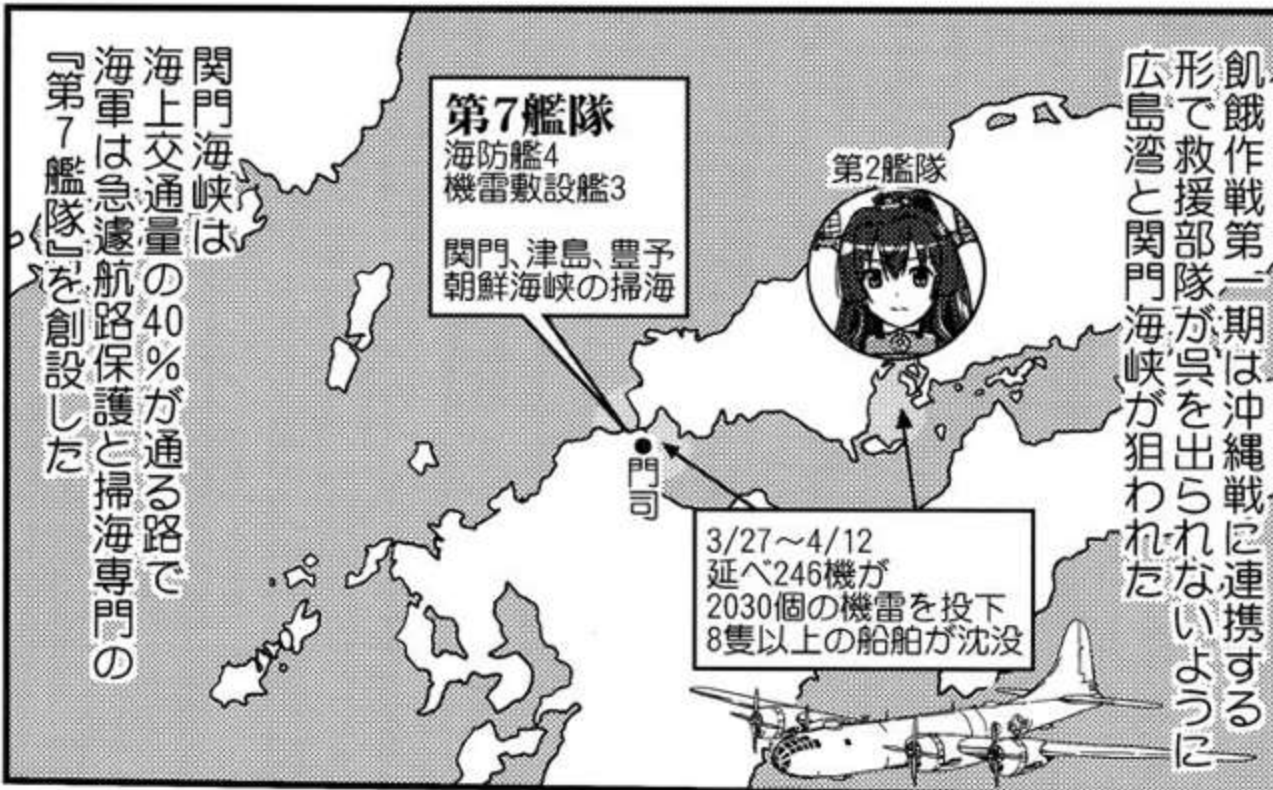
**第7艦隊**  
海防艦4  
機雷敷設艦3  
関門、津島、豊予  
朝鮮海峡の掃海

第2艦隊

3/27~4/12  
延べ246機が  
2030個の機雷を投下  
8隻以上の船舶が沈没

飢餓作戦第一期は沖縄戦に連携する形で救援部隊が呉を出られないように広島湾と関門海峡が狙われた

関門海峡は海上交通量の40%が通る路で海軍は急遽航路保護と掃海専門の「第7艦隊」を創設した



日本本土は山ばかりで平野が殆どない戦術爆撃と海上封鎖で降伏させられる

アーノルドは空軍の力を証明し陸海軍から独立させることが悲願だった

**硫黄島**

アーノルド  
陸軍航空軍司令官

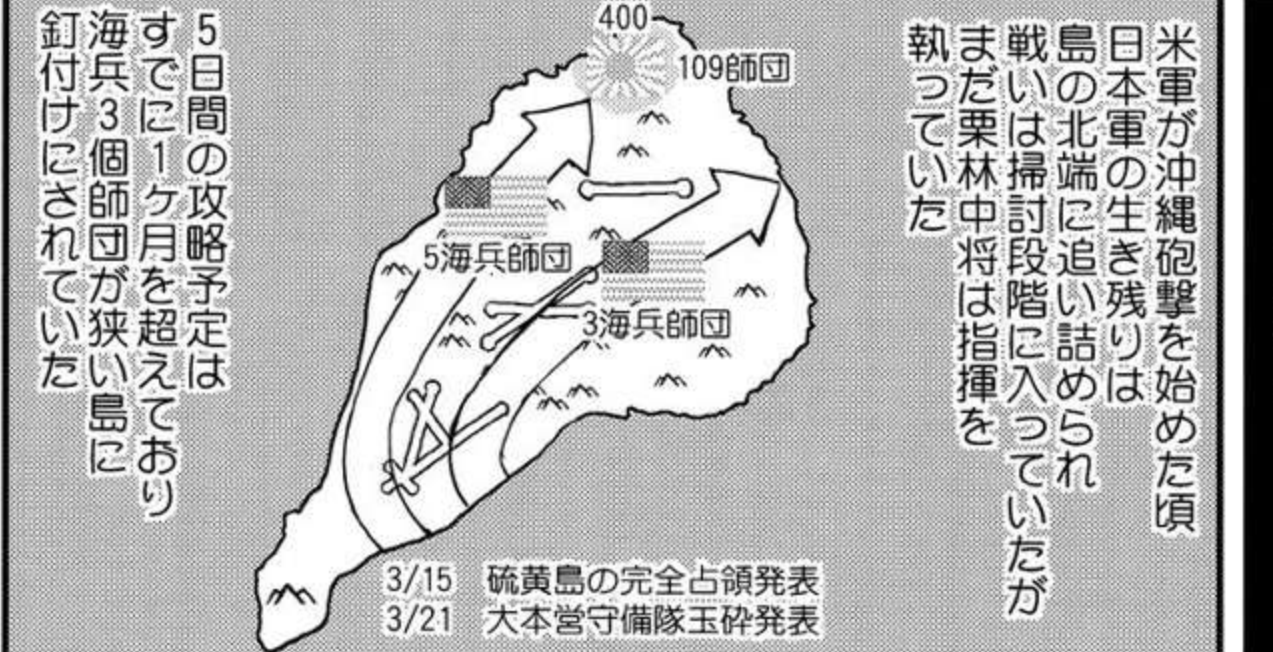


米軍が沖縄砲撃を始めた頃日本軍の生き残りは島の北端に追い詰められ戦いは掃討段階に入っていたがまだ栗林中将は指揮を執っていた

5日間の攻略予定はすでに1ヶ月を超えており海兵3個師団が狭い島に釘付けにされていた

400  
109師団  
5海兵師団  
3海兵師団

3/15 硫黄島の完全占領発表  
3/21 大本営守備隊玉砕発表



米兵の中には当初の憎しみや軽蔑から強敵に対する敬意すら湧いている者もいた

コイツらも俺達と同じ国や家族のために必死に戦ってるんだな

3月26日 壕間の連絡が分断された栗林中将は「各部隊は最後の二兵となるも飽く迄決死敢闘すべし」と命令し自ら玉砕突撃で戦死した




ニホンノ兵隊サン戦争ハ終リマシタ水モアリマス出テ来テ下サイ

米軍は残る洞窟に潜む数千の日本兵に投降を呼びかけたが無視されるか攻撃された

これで日本軍の組織的抵抗は終わった

万歳突撃ではなく最大の混乱と破壊を狙った優秀な作戦だった(米軍戦史)



いつまでも全く無意味な抵抗を止めない日本兵に対し生まれたい敬意は次第に激しい怒りへと変わっていった

いい加減にしるよこの野郎!

米軍は洞窟を海水で満たして日本兵を浮かせてガソリンを流込み火を付けるなど掃討手段は過激化していった



軽蔑から敬意へ敬意から怒りへ更に怒りすら通り越した米兵達は

一体何なんだコイツらは!

何か理解できない不気味なものを、見るような目で日本兵の死体を眺めていた

焼かれた洞窟内で半死半生になった状態でも日本兵は助けを拒否し動ける者は手榴弾で自殺した



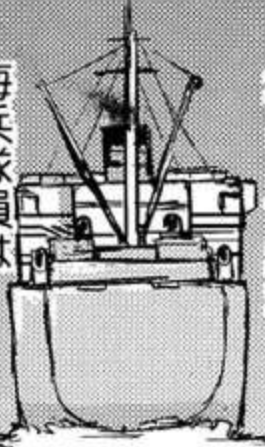


硫黄島の戦いで死者は  
日本軍 1万9900  
米軍 6821

しかし負傷者を入れると  
日本軍 2万933  
米軍 2万7686  
となり

太平洋戦争で唯一  
米軍の損害が上回った戦い  
などと言われる

海兵隊員は  
硫黄島を去る時  
「あんなのはただの島だ」  
「もう見たくもない」と吐き捨て  
最後にひと目見ようと甲板に  
上る者はいなかったという



広島湾 呉

榛名さん  
何してるん  
ですか？

やることもないし  
次の空襲に備えて  
迷彩でも塗ろうかと

なるほど！  
カッコいい  
ストライプですね

空母は目立つし  
塗るのも大変そうだ

みんな

空襲の修理すら  
受けられずに

任務も  
ない

娯楽も  
ない

ないない  
尽くしだいな

鎮守府は  
飢えがない分  
マシな方か？

みんな

コックリさん  
やらない？

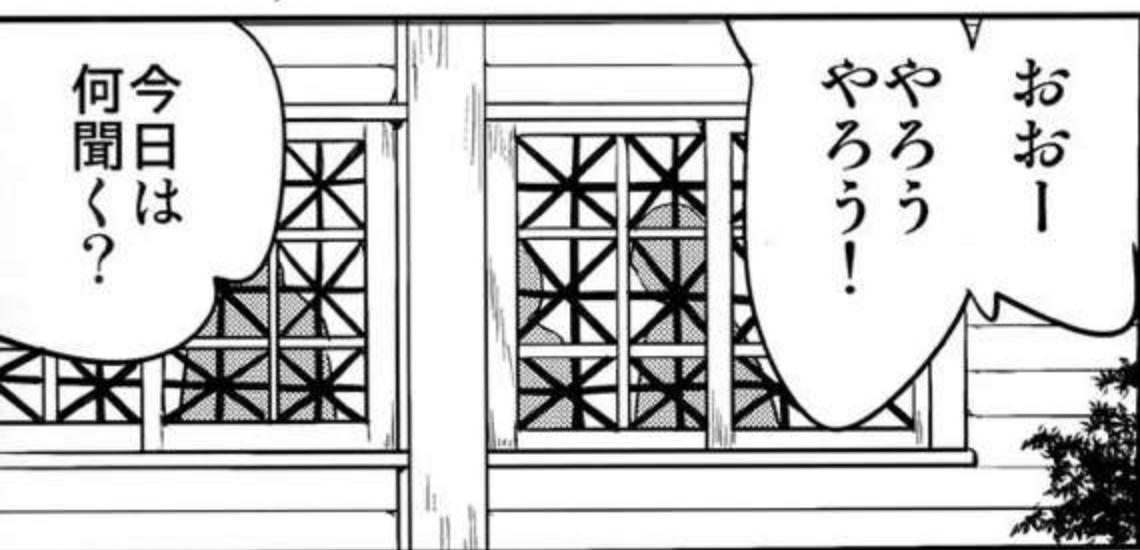
おおー

やろう  
やろう！

今日は  
何聞く？

日本は神の国と  
教育された兵士の間で  
戦争末期には神頼みの  
「コックリさん」が前線から  
内地まで広く流行した

あれ…？









え？

そんなに近かった？

何だ気づいてなかったのか  
浜風が自分からあんなに近づいてきて  
なんてテートク以来じゃないか  
やめてよ

発電用ボイラーのおかげでお湯だけは困らないわね

雪風に書かれた文字

キョキョ

何となく消さないように残してしまってる...

薄くなること書き足したりして...

このままじゃダメだ私の中で雪風をもっとちっぽけな存在にしないと

ただでさえ秘書艦に選ばれたら忠誠タイプなんだから

雪風の夜這い？

いいわね駆逐艦はこんな時でも元気があって  
厳密には軍規違反でしょうけどみんな日々の目標を見失ってるからそれで元気が出るなら

それがですね『閨房の練度』は雪風が鎮守府一なんて言われてるんです

秘書艦経験者の私や大和さんを差し置いてですよ



時間を持て余して  
軍規が緩みがちな今

秘書艦でもない者が  
我が物顔にしているのは  
鎮守府の統制が取れません

ふふ…つまり  
貴女じゃ雪風を  
絞められなかった  
ということね

は…ハイ  
さすがに言われる  
だけあって強敵です

でも大和さんと  
協力して2対1なら  
何とかなるはずですよ

2対1?  
浜風 私が誰の  
秘書艦だったと  
思ってるんです

連合艦隊  
司令長官ですよ

ハイ  
それと…

本当はこんなこと  
言うべきではないかも  
しれませんが…

雪風が  
初めて『17駆』に来た時  
批判的だった谷風が  
その後すぐに沈んで

何かと当りの  
強かった浦風も  
沈んでしまいました

雪風と肌を重ねた  
私と磯風だけが  
まだ生き残っています

谷風が  
言っていました

雪風は幸運艦で  
有名だけど  
裏を返せば

触れない者にとって  
運を奪う死神なのかも  
知れません

大和さんは  
私たちが連合艦隊  
全員の希望です

沈んで欲しく  
ないんです

幸運だとかは  
死神だとかは  
おいといて

駆逐艦相手に  
大人げないとも思ったけど  
艦娘の秩序が乱れると  
テートクにも申し訳  
ありませんね

いいでしょう  
雪風を呼んでらっしゃい



見たい見たい！  
大和さんの裸

浜風が頼んでくれたの？

あの人普段肌見せないけど豊潤さは艦娘一だよ

な…  
なんか

あんまり喜ばれるとモヤッとするわね

雪風入ります

アラもう来たの？  
消灯前に夜這いなんて早くない

ハイ！よく見えないと勿体ないので！  
大和さんの身体目に焼き付けに来ました

おお！  
さつそく

ふふ…ご期待に添えれば  
いいけれど

ちなみに今まで見た中で一番だったのは誰かしら？

金剛さんでよお

う…子供の前で脱ぐらしいの  
気持ちでいたけど

金剛さんと比べられると思うと少し恥ずかしいかも

ちよっと身体が巨き過ぎて胸や腰に余分なお肉も付いてるし…

ま…まあいいわ  
こっちおいで

しゅわ しゅわ しゅわ





あはは  
頬に当たって  
こそばゆい  
もつともつと  
固くなれー



おん



おん

ひやッ



おん



どろどろ



大和さん  
一番大きいの  
行きますね  
スフッと



おおッ

おん

人を脱がすなら  
貴女も脱ぎなさい





上手い  
気持ちいいせい

確かに  
言われるだけ  
あって



あ  
大和さんは  
耳が...

カツン



おお  
すんなり

はあ

ぬ



あの  
押しつぶされて  
理性を持つて  
いかれるような  
圧迫感がない

でせよ  
軽い!

はあ

はあ

はあ

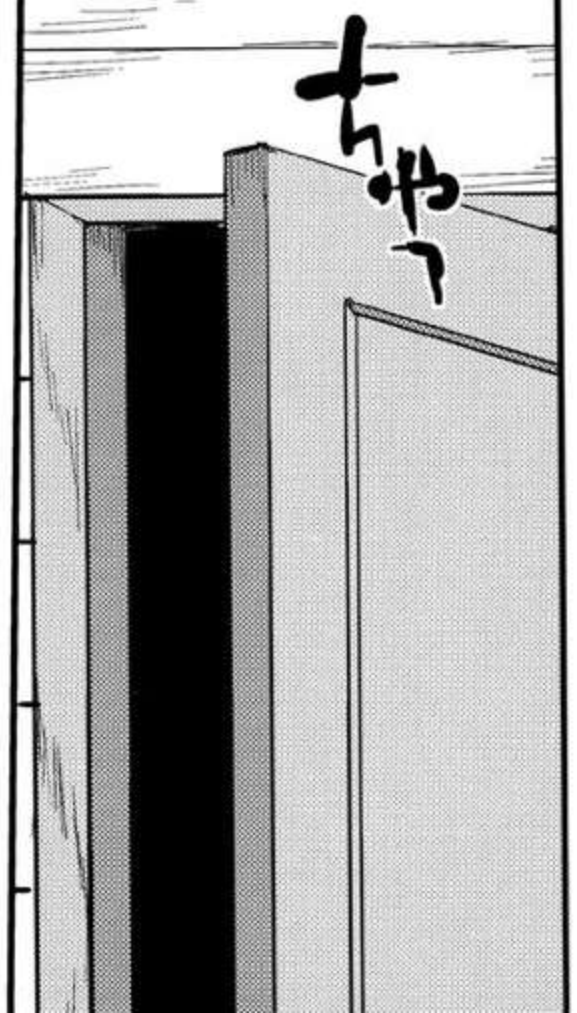
はあ



おいで  
浜風



ぬ



はあ



さあ  
ここにブチ込んで  
あげなさい!



ッッッッ



でも  
ブチ込む前に

ガッ



一度くらいは  
自分で泣かせないと  
気がすまない

え!?  
浜風?



秘書艦仕込みの  
後ろの穴責めで



なめる、おす、UUU、VVVV、NNNN

あああ私:  
雪風のお尻の穴に  
口付けてる



ついでに中まで  
キレイキレイに  
してあげるわね

あひやひやひや  
くすぐつ  
たいよ浜風

何で突然私の  
お尻の穴なんか  
舐めてるの



ふえッ?

ズン



ズン



ズン





艦娘を舐めるのに  
秘書艦用の道具なんて  
要りませんよ

ほ  
鳳翔さん!?

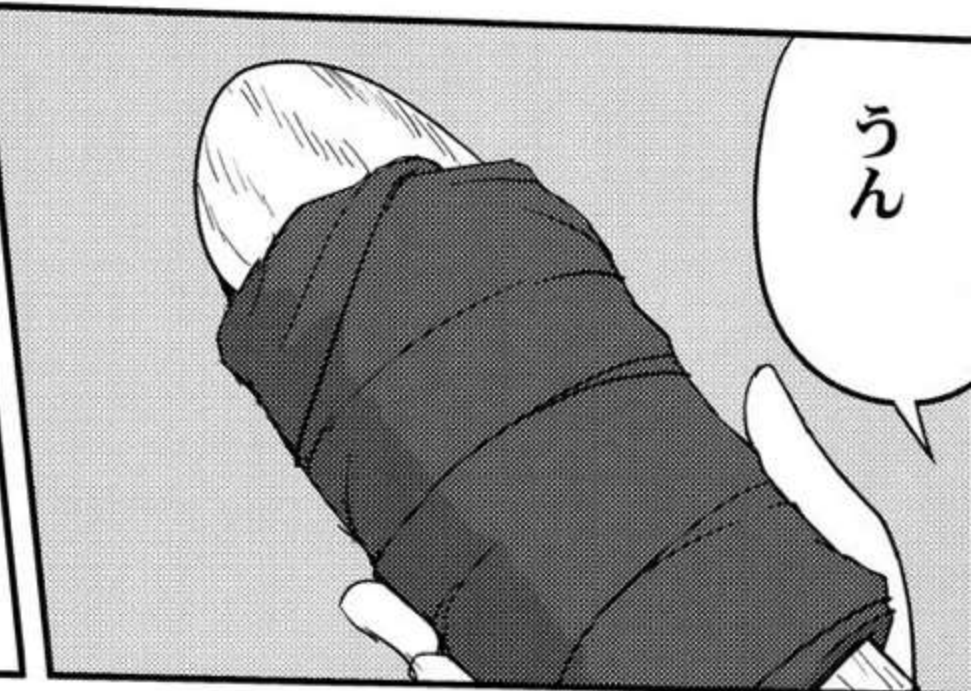
私も

元秘書官に  
入れてもらって  
いいですか

あ…ハイ













あーっ

グレイプエンベルグ  
スポット!

さあ  
私の手に  
合わせて

楽しく踊って  
下さいね







ほ  
鳳翔さん！



失神  
してまゐ  
ります

二人とも



ほ  
ほ



ん  
ん





フフ…



大和さんまで  
巻込んだんじやい  
ましたね

それにしても  
懲らしめるのは  
雪風だけで  
良かったんですが

…あつ  
失礼しました…



やった  
!

やったッ  
やったッ!

ウウウ

ウウウ



大和さんには  
後から来てテートクを  
盗られちゃったから

多少はね



あはは…

先任秘書艦への  
心配りの大切さ  
肝に銘じます

3月25日

浜風の余命  
残り12日間



3月26日

みんな『天1号作戦』が発動したわよ

ガキヤ

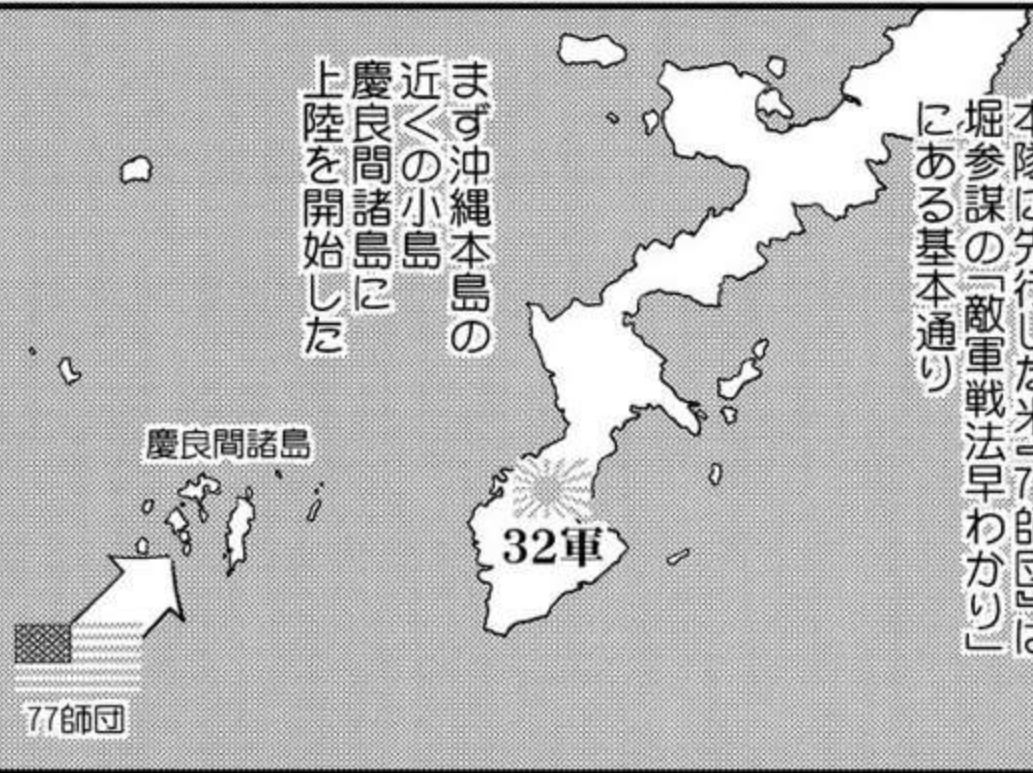
1号って沖縄方面よね

しかし『天号』って航空決戦じゃろ？我輩達には関係ないのじゃ

燃料も支給されない気配すらないしね

3月26日  
本隊に先行した米『77師団』は堀参謀の『敵軍戦法早わかり』にある基本通り

まず沖縄本島の近くの小島慶良間諸島に上陸を開始した



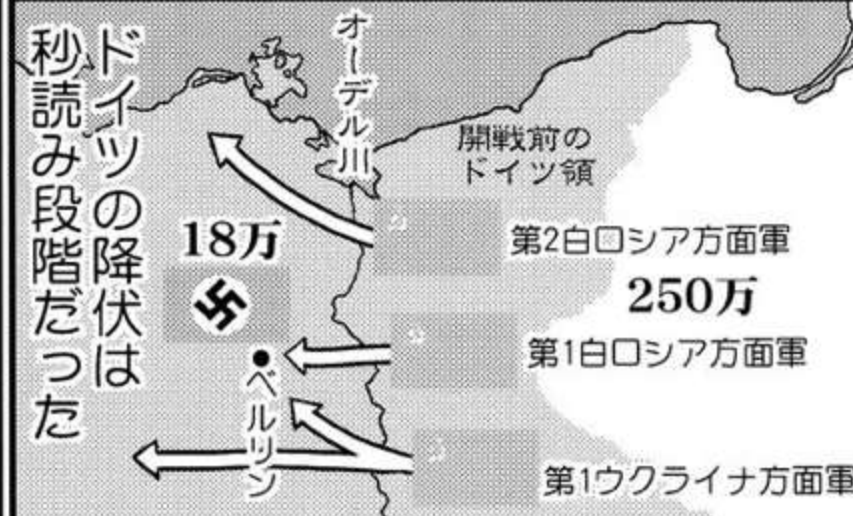
上陸を受け日本では陸海軍協同の航空決戦『天号作戦』の1号が発動された

3月30日 及川軍令部総長は沖縄の米軍に全力で航空特攻作戦を行うことを上奏した



ドイツの勝利が大前提だった日本の戦略は全てが破綻した

今は一刻も早く『一撃』を加えて講和交渉に入らねばならない



ヨーロッパではこの時ソ連軍がドイツ国内まで侵入して体勢を整え次の総攻撃で首都ベルリン陥落は確実となっていた

総攻撃は航空部隊だけか

海軍にはもう艦がないのか

海上部隊はないのか





どうも蛸壺屋です。

艦これシリーズ9冊目、艦娘の一番長い日(前編)です。

何とまたも最終回は持ち越しです。  
8ヶ月分が60Pに収まるとは思ってなかったので増ページで何とかしようとしたのですが全然足りず分冊となりました。  
そのため今回はエロシーンが巻末に来るという変則的な構成になってます。  
まさか坊ノ岬沖が入らないとは予想しませんでした。  
しかし分冊にしたことで戦後にも少しページを確保できそうです。

44年に入ってからは一気に戦争自体の情報量が一気に上がったような気がします。  
情報は絞ってるつもりですが、個人的に「そういうことだったのか」と思ったことは省かず入れるようにしています。

ちなみに東京大空襲の「隅田川を渡る災」は調べても具体例に乏しかったので(橋を渡っただけ説も)、火災旋風が強風で移動した風に想像で描きました。

今回もテキストが多く原稿がなかなか進まなかったのが締め切り間に合っただけでも御の字です。今は締め切り日の徹夜中もうひと頑張りです。

ではまた次回お会いしましょう!

作画や情報の間違い修正専用ページを作りました。

『テートクの決断フォローページ』

<http://takotuboya.jp/teitoku/syuusei.html>

誌名 テートクの決断 艦娘の一番長い日(前編)

発行者 蛸壺屋

発行日 2019年8月12日

印刷所 大陽出版

Scans by Super Shanko

ご意見ご感想は下記アドレスまで

URL : <http://takotuboya.jp>

E-Mail : [tk@takotuboya.jp](mailto:tk@takotuboya.jp)



## 登場艦娘

榛名	大和	長門	日向
伊勢	隼鷹	葛城	天城
龍鳳	鳳翔	海鷹	青葉
妙高	利根	北上	鹿島
矢矧	大淀	潮	霞
浜風	磯風	雪風	天津風
涼月	響	占守	伊8

## テートクの決断 艦娘の一番長い日 (前編)

TAKOTUBOYA  
**Adult Only**

テートクの決断	昭和16年の敗戦 (1941. 7. 28~1941. 12. 8)
テートクの決断	MIDWAY (1941. 12. 8~1942. 6. 7)
テートクの決断	鉄底海峡 (1942. 6. 8~1943. 2. 7)
テートクの決断	ラバウル1943 (1943. 2. 8~1943. 8. 25)
テートクの決断	絶対国防圏 (1943. 8. 26~1943. 12. 14)
テートクの決断	あ号作戦への道 (1943. 12. 15~1944. 6. 23)
テートクの決断	レイテに散る (1944. 6. 24~1944. 10. 25)
テートクの決断	一億特攻 (1944. 10. 25~1945. 1. 21)